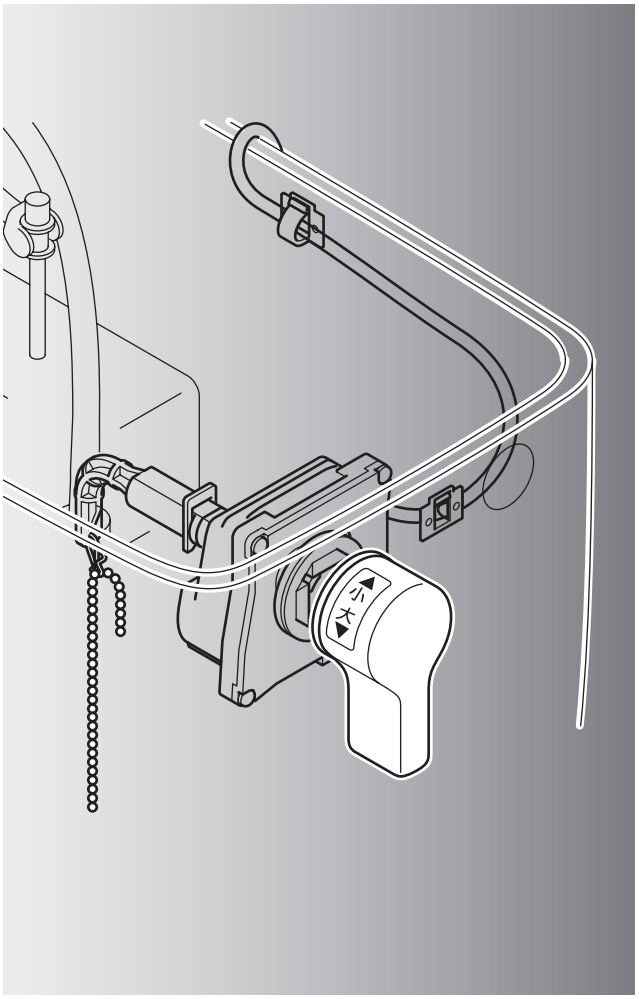
施工説明書

PASSO・KA シリーズ・スリムタイプ用フルオート便器洗浄ユニット

密結タンク QA 用



もくじ

施工の手順 1
安全に関するご注意 2
必ず守ってください 3
便器品番の確認 4
INAX 便器 …… 4
TOTO 便器 …… 5
INAX 便器への施工方法 7
TOTO 便器への施工方法 13
A タイプ施工方法 …… 13
B タイプ施工方法 …… 19
C タイプ施工方法 …… 25
D タイプ施工方法 …… 31
洗浄ユニットコードの接続と取回し 37
便器洗浄モードの変更 41
試運転 43

注 意

- **施工後は、必ず便器洗浄モードを設定してください。**（設定方法…P.41 ～ 42）
- **取り付けるタンクによっては、使用しない部品も入っています。**
  タンクにあった部品を選んで施工を行ってください。
  ※ タンクのメーカー・品番を確認し、使用する部品を明確にしてから梱包の袋を開いてください。
- **同梱部品以外は、保証の対象外となります。**

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客さまに必ず本書と取扱説明書をお渡しください。

お客様にお渡しするため、本書の取り扱いには、ご注意ください。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで　　ナビダイヤル　TEL 0570-017-173
受付時間　平日 9:00 ～ 18:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

施工の手順

この度は、当社製品シャワートイレをお取り扱いいただき、誠にありがとうございます。
本書は、シャワートイレ PASSO・KA シリーズ・スリムタイプ用フルオート便器洗浄ユニットの施工手順要領と注意事項を記載しております。下記の事項をお読みになって正しく取り付けてください。

便器のメーカー・品番を確認
（4 ～ 6 ページ参照）

※ 様々なタンクに対応するため、いろいろな部品が入っています。使用しない部品もありますので、タンクのメーカー・品番を必ず確認し、必要な部品を正しく選択して施工してください。

本体施工：INAX 便器編
（7 ページ参照）

※ INAX 便器に取り付ける場合、青色の袋は使用しません。

本体施工：TOTO 便器編
（13 ページ以降参照）

※ TOTO 便器への取り付けは 4 タイプあります。
※ TOTO 便器に取り付ける場合、赤色の袋は使用しません。

洗浄ユニットコードの接続と取回し
（37 ページ参照）

便器洗浄モードの変更（41 ページ参照）*

＊：INAX W 節水便器は、便器洗浄モードの変更は必要ありません。

試運転（43 ページ参照）

■ 取付不可条件

以下の条件に 1 つでも当てはまる場合には、取付け出来ませんのでご注意下さい。

形状

ワンピース型

フラッシュバルブ仕様

タンクが丸みを帯びた便器（INAX：カスカディーナ）

ハンドル

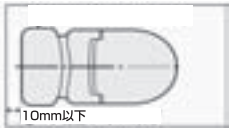
ハンドルと給水管がともにタンクの右側にある

ハンドルがタンクのフタ上にある

ハンドルがタンクの左側にある

設置条件

タンク背面と壁との隙間が10mm以下



品番
上記以外の品番のもの

ブランド
INAX、TOTO以外

洗浄方式
・非水洗便器
・簡易水洗便器

製造年度
1980年以前に設置の水洗便器

安全に関するご注意

■安全のために守ってください！

商品を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

警告 ・・・・ 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

・・・・ 「注意しなさい！」（上記の『警告』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

禁止 ・・・・ この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。

指示実行 ・・・・ この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。

⚠ 警告

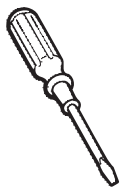
修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。 ※ 感電・火災・ケガの原因になります。 分解禁止	本体やコードに水や洗剤をかけないでください。 ※ 感電・火災の恐れがあります。 水かけ禁止
バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。 ※感電・火災の原因となります。 水場使用禁止	コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。 ※ コードが破損し、感電・火災の原因になります。 禁止

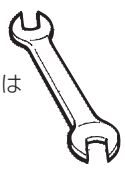
●シャワートイレの注意につきましては、シャワートイレに同梱されている施工説明書をご覧ください。

準備工具

取り付ける際は、次の工具をご準備ください。

⊕⊖ドライバー　　モンキーレンチ（24mm）　　スパナ（24mm）



もしくは


必ず守ってください

■施工前の注意

- フルオート便器洗浄ユニットの施工方法は、取り付ける便器によって使用する部品・手順・要領が異なります。
  本書は、INAX 便器向け **INAX 編**（7 ～ 12 ページ）と TOTO 便器向け **TOTO 編**（13 ～ 36 ページ）に分かれていますので該当する編をご覧になって取り付けてください。
- フルオート便器洗浄ユニットは、いくつかの**便器洗浄モード**（大・小洗浄や洗浄ハンドルの回転方向）を保有しており、取り付ける便器によってシャワートイレの設定を変更する必要があります。洗浄ユニット本体の取り付けが終わったら、手順にしたがって**便器洗浄モード**を変更してください。（41 ページ参照）
- フロート弁（排水弁）鎖の長さは、必ず調整してください。
  ※洗浄不良の原因になります。
- 取付完了後、必ず試運転を行ってください。
  施工時、上水道が通水していない場合は後日、通水してから試運転を行ってください。
  ※洗浄不良または洗浄不能の恐れがあります。

■施工業者様へお願い

- お客さまに必ず本書と取扱説明書をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。
- 取り付ける便器によって使用する部品と使用しない部品があります。使用しない部品の袋は、開封しないでください。また、使用しなかった部品は、本施工説明書といっしょにお客様にお渡しください。
- 取り外したレバー類は、引っ越しなどを考慮して保管することをお客様におすすめしてください。

■お客様へお願い

- 本製品は、シャワートイレとセットになっています。単独で取り付けることはできませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品の取り付けは、専門知識を必要としています。取り付ける際は必ず、施工業者様または LIXIL 修理受付センター（取扱説明書に記載）にご依頼ください。
- 取り外したレバー類および使用しなかった本製品の部品は、引っ越しなどを考慮して保管することをおすすめします。引っ越しの際の取り外し・取り付けも施工業者様または LIXIL 修理受付センター（取扱説明書に記載）にご依頼ください。

便器品番の確認

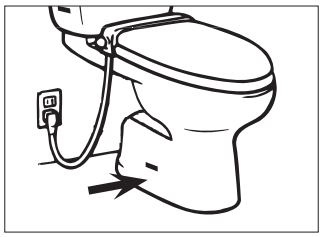
■ INAX 便器の場合

本製品が取り付けられる便器は、以下のとおりです。

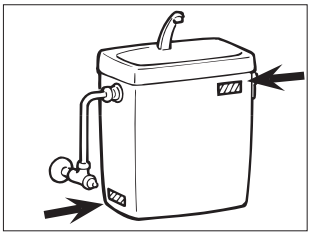
下記品番以外の便器には取り付けできませんのでご注意ください。

※施工後、リモコンによる設定が必要です。(☞P.41)
設定しないと洗浄不良の原因となります。

便器品番の場合



タンク品番の場合



●取付け可能な INAX 便器

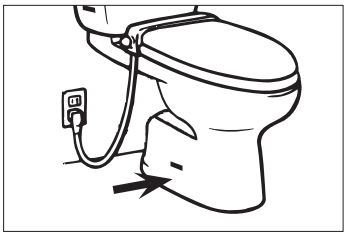
シリーズ名		代表品番 便器部	代表品番 タンク部	洗浄方式	施工タイプ
W節水便器	アメージュ V	BC-320(S,SU) BC-320(P,PU) BC-360PU	DT-V180(U,MU,N,UN) DT-V150(U,MU,N,UN)	大 / 小洗浄	INAX タイプ (7～12ページ参照)
	アメージュ V (リトイレ)	BC-340(S,SU)	DT-V180H(U) DT-V150H(U)		
	アメージュ C (98,6/21 ～)	BC-110(SU,ST,STU) BC-110(PU,PT,PTU) BC-181S BC-181P	DT-C180U(N) DT-C150U(N) DT-2810(N) DT-2510(N) DT-3810(N) DT-3510(N)		
	車いす対応便器	BC-220SK	DT-K180 DT-K150		
	アメージュ G アメージュ M (98,6/21 ～) アメージュ M 脱臭 (98,6/21 ～)	BC-120SU BC-120PU BC-130(S,SU) BC-220S BC-220(P,PU)	DT-2820(N) DT-2520(N) DT-2821(N) DT-2521(N) DT-3820(U,N) DT-3520(U,N) (DT-3520UML は除く) DT-4820 DT-4520		
	リトイレ	BC-150S BC-250S	DT-2820(N)　DT-3520(H,HU) DT-2520(N)　DT-4820H DT-3820(H,HU)　DT-4520H		
	コンパクトリトイレ	BC-140S BC-240S	DT-2810H　DT-3810(H,HU) DT-2510H　DT-3510(H,HU)		
	その他の W 節水便器	C-100S　BC-260P C-100P　BC-270S C-180S　BC-270P C-180P　BC-370SX BC-160S　BC-370PX BC-170S　BC-600S BC-260S	DT-B180(X,XU)　DT-3840(N) DT-B150(X,XU)　DT-3540(N) DT-680S　DT-3850(N) DT-650S　DT-3550(N) DT-2860(N)　DT-3860 DT-2560(N)　DT-3560 DT-2870(N)　DT-3870 DT-2570(N)　DT-3570 DT-3800　DT-4870 DT-3500　DT-4570		
アメージュ C (～98,6/20)		BC-110S BC-110P	DT-1810(S,P) DT-1510(S,P)	大のみ洗浄 <注> 大 / 小 (ホールド) 洗浄の場合も取付後、大のみ洗浄	
アメージュ M (～98,6/20) アメージュ M 脱臭 (～98,6/20)		BC-120(S,SU) BC-120(P,PU)	DT-1820(S,P) DT-1520(S,P) DT-1821S DT-1521S		
アメージュ アメージュ脱臭		BC-880S　BC-881S BC-850S　BC-851S DC-880(S,P)　DC-881S DC-850(S,P)　DC-851S			
その他の便器		C-18(S)　C-54(S,SU) C-18(P,PU)　C-LN-S C-20S　C-LN-P C-20P　BC600S C-44(S,SU,ST)　SC-10 C-44P　SC-20 C-45(P,PU)　SC-30	(D)T-810(U)　DT-680 (D)T-510(U)　DT-650 (D)T-810(U)Z　DT-LN (D)T-510(U)Z　DT-5LN (D)T-810XU(Z) (D)T-510XU(Z) (D)T-811(Z) (D)T-511(Z)		

※ 上記品番は代表品番です。寒冷地仕様（ヒーター便器”H”, 流動”W”, 水抜きタンク”N”）やプロガード”G”仕様などの各バリエーションにも対応可能です。

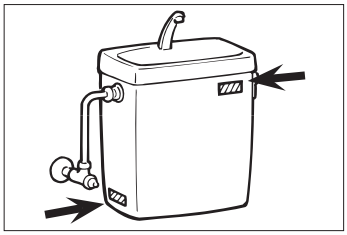
■ TOTO 便器の場合

本製品が取り付けられる便器は、以下のとおりです。
また、便器によって使用する部品や施工方法が異なります。タイプ別にわけてありますので、該当するタイプを検索してください。
下記品番以外の便器には取り付けできませんのでご注意ください。

便器品番の場合



タンク品番の場合



シリーズ名	便器品番	タンク品番	仕向け	施工タイプ
QR	CS30 系 CS20 系 CS22 系	SH30B 系 , SH31B 系 SH32B 系 , SH33B 系	一般地	C タイプ (25 ～ 30 ページ参照)
		SS30BF・BN 系 SS31BF・BN 系 SS32BF・BN 系 SS33BF・BN 系	寒冷地	D タイプ (31 ～ 36 ページ参照)
レスティカ	CS90 系 CS80 系 CS82 系	SH90B 系 , SH91B 系 SH92B 系 , SH93B 系	一般地	C タイプ (25 ～ 30 ページ参照)
		SS90BF・BN 系 SS91BF・BN 系 SS92BF・BN 系 SS93BF・BN 系	寒冷地	D タイプ (31 ～ 36 ページ参照)
CSR	CS670 系	SH670B 系 SH671B 系	一般地	C タイプ (25 ～ 30 ページ参照)

※施工後、リモコンによる設定が必要です。(☞P.41)
設定しないと洗浄不良の原因となります。

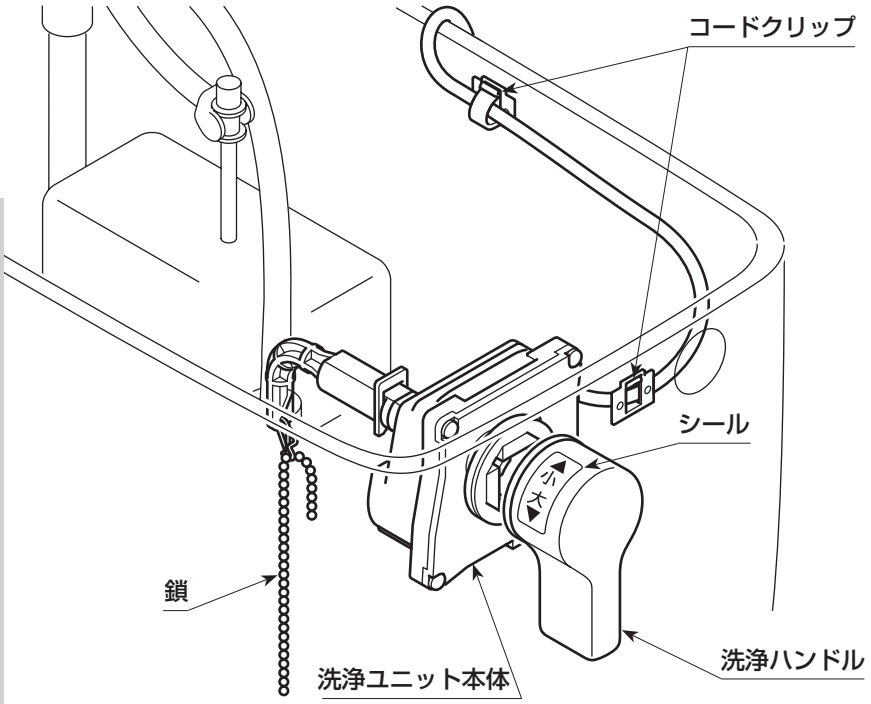
シリーズ名	便器品番	タンク品番	仕向け	施工タイプ
New CS	C780系 C790系	S790B S791B	一般地	Dタイプ (31～36ページ参照)
		S790BF・B S791BF・B	寒冷地	
一般洋風便器	C710系 C720系	S710(B), S721(B)	一般地	Bタイプ (19～24ページ参照)
		S710BF, S721BF	寒冷地 (前ハンドル)	
		S710BN, S721BN	寒冷地 (右ハンドル)	Aタイプ (13～18ページ参照)
	C420	S516(B), S517(B)	一般地	
		S516BF・B S517BF・B	寒冷地	
	C730系	S730(B), S731(B)	一般地	
		S730BF・B S731BF・B	寒冷地	
コンパクトリモデル	CS590B系	SS590B系 SS591B系	一般地	

INAX 便器への施工方法

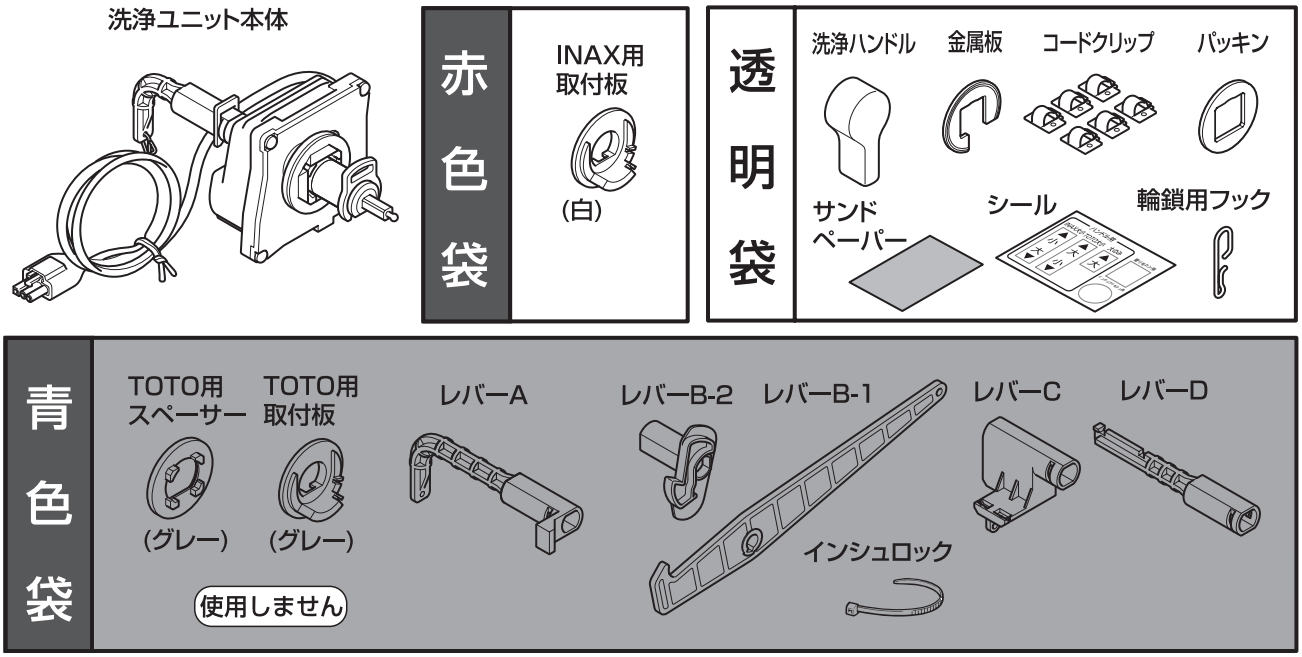
■ 施工完了図

【作業手順】

1 取付前準備 (8 ページ)
2 既存洗浄ハンドルの取外し (8 ページ)
3 洗浄ユニット本体の準備 (8 ページ)
4 洗浄ユニット本体の取付け (9 ページ)
5 シールの貼付け (11 ページ)
6 洗浄ユニットコードの接続と取回し (37 ページ)
7 便器洗浄モードの変更 (41 ページ)
8 試運転 (43 ページ)



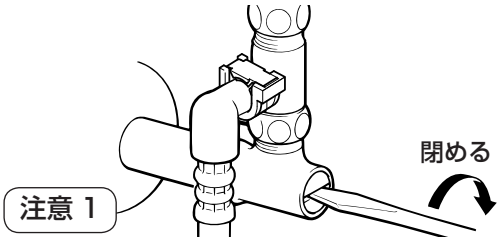
■ 使用部品 (下図にしたがって必要な部品だけを使用してください。)



青色袋内の部品は使用しません。開封しないでください。

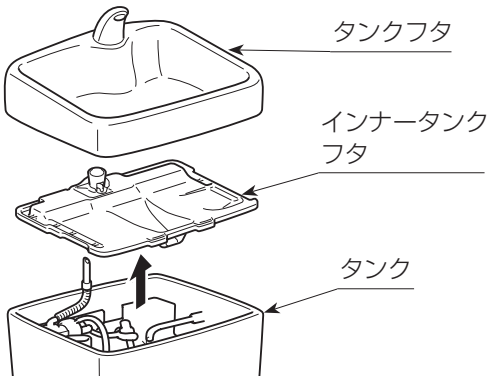
1 取付前準備

1. 止水栓を閉めてタンクへの給水を止めます。
2. 洗浄ハンドルを操作してタンクから水を抜きます。



3. ロータンクフタ・インナータンクフタを取り外します。

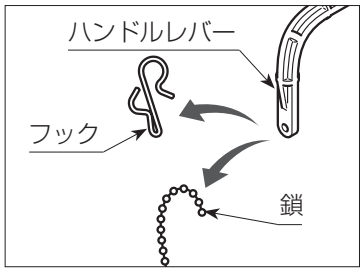
※インナータンクフタのない便器もあります。 参考 1

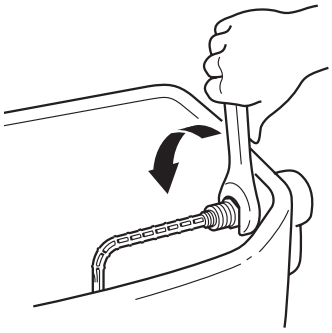


2 既存洗浄ハンドルの取外し

既存の洗浄ハンドルおよびハンドルレバーを取り外します。

ハンドルレバーから鎖とフックを外します。





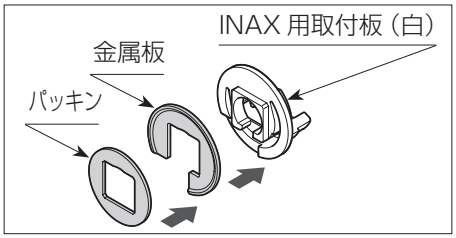
3 洗浄ユニット本体の準備

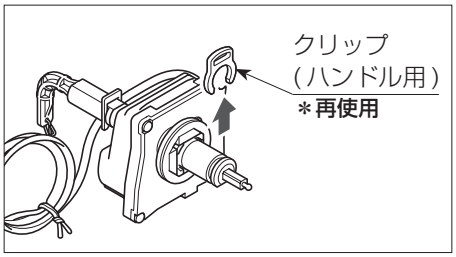
1. 赤色袋から INAX 用取付板（白）を取り出します。
2. 透明袋から金属板とパッキンを取り出し、INAX 用取付板（白）にセットします。（右図参照）

※ 金属板とパッキンは必ず、取り付けてください。取り付けないと取付板が変形し、破損の原因になります。

3. 洗浄ユニット本体からクリップ (ハンドル用) を外します。

※ クリップ (ハンドル用) は再使用しますので、取り外しの際は、破損しないように注意してください。



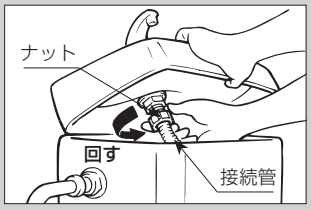


注 意 1

- **止水栓は調節してありますので再使用時、元の位置に戻す必要があります。**
- **手洗吐水口付の場合は、タンクフタを外したら再び取り付けるまで止水栓を開けないでください。トイレ内を濡らす恐れがあります。**

参 考 1

手洗吐水口付の場合は、フタの裏側にナットやクリップで接続管が付いている場合があります。
ナットやクリップを外し、タンクフタから接続管を外します。



4. ハンドルレバーの取付位置を移動させます。

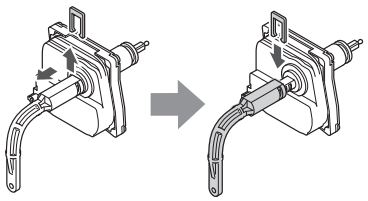
※位置を合わせないと、便器洗浄不良になります。

【アメージュ V(DT-V180,V150 他) の場合】：
ハンドルレバーを移動させる必要はありません。ご注意ください。

【アメージュ M(DT-4820 他)、アメージュ G(DT-3820 他)、DT-B180,4870,3870,3860 タイプの場合】：
クリップ（レバー用）を外し、ハンドルレバーの取付位置を**奥から三番目**に移動させます。

【その他のシリーズの場合】：
クリップ (レバー用) を外し、ハンドルレバーをシャフトの**奥から四番目**に移動させます。

アメージュ M の場合　**奥から三番目に移動し、固定する**



※お買い上げ時、ハンドルレバー位置は一番奥になっています。

4 洗浄ユニット本体の取付け

注意 2

1. タンク穴に洗浄ユニット本体のハンドル接続部を通します。・・・①

2. 洗浄ユニット本体を固定します。

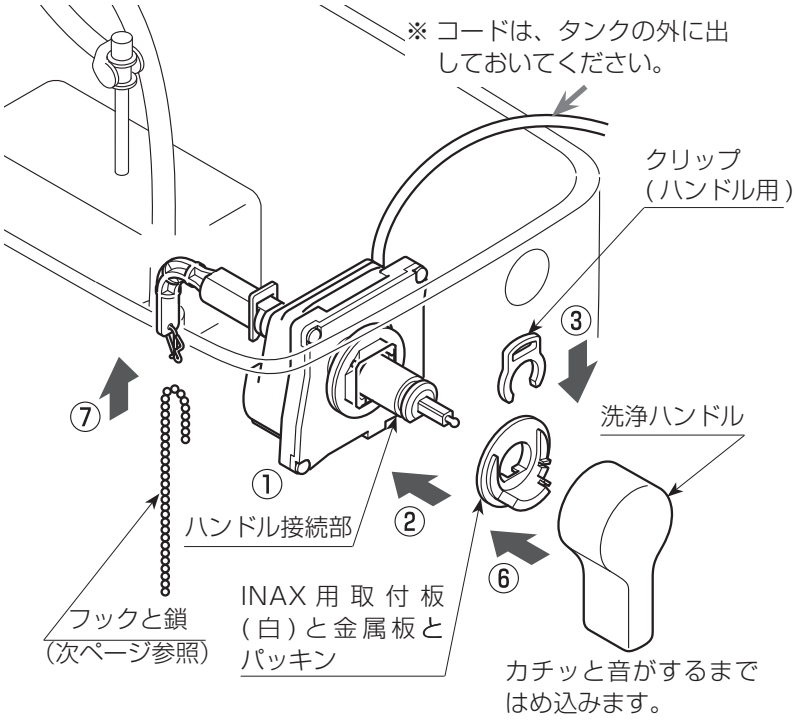
(1) INAX 用取付板 (白) をハンドル接続部に差し込み②、クリップ (ハンドル用) で固定します。③

※ 金属板とパッキンは必ず、取り付けてください。取り付けないと取付板が変形し、破損の原因となります。

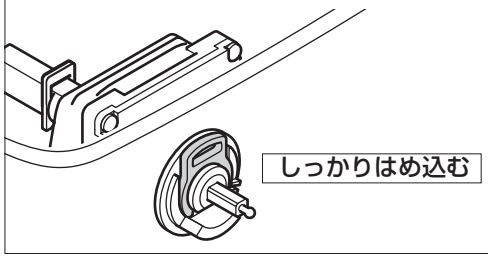
※ クリップ (ハンドル用) は、ハンドル接続部の溝に確実にはめ込んでください。・・・④

(2) 本体のナットを工具を使って締め付けます。(締付トルク：2.5 ～ 3.0N·m)・・・⑤

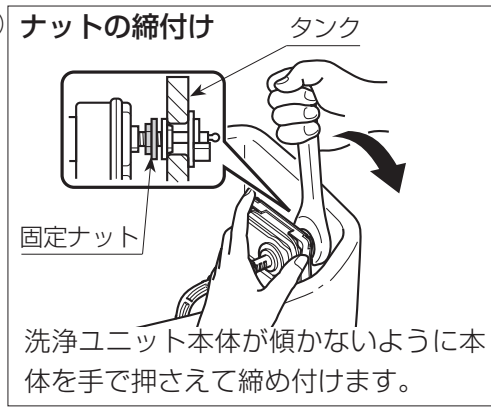
3. 洗浄ハンドルを取り付けます。・・・⑥



④ クリップ (ハンドル用の取付け)



⑤ ナットの締付け



注 意 2

- **洗浄ユニット本体をタンク内に落とさないでください。**
  ※ 本体内部に水が浸入して破損する恐れがあります。
- **本体が傾かないように注意してください。**
  ※ 本体が傾くと洗浄不良の原因になります。
- **クリップ (ハンドル用) はしっかりはめ込んでください。**
  ※ はまっていないと洗浄不良の原因になります。
- **固定用ナットの締付トルクは、2.5 ～ 3.0 N·m が適正です。**
  ※ 締付けが緩いと洗浄不良になる恐れがあります。
  ※ 締め過ぎると破損する恐れがあります。

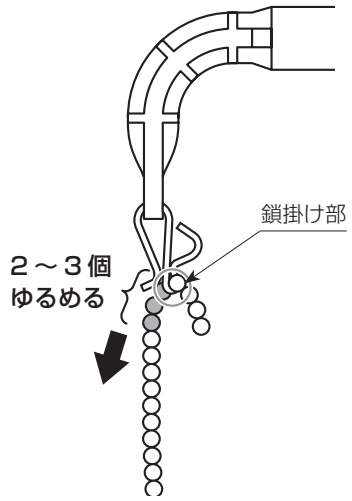
4. 鎖の長さを調節します。・・・⑦

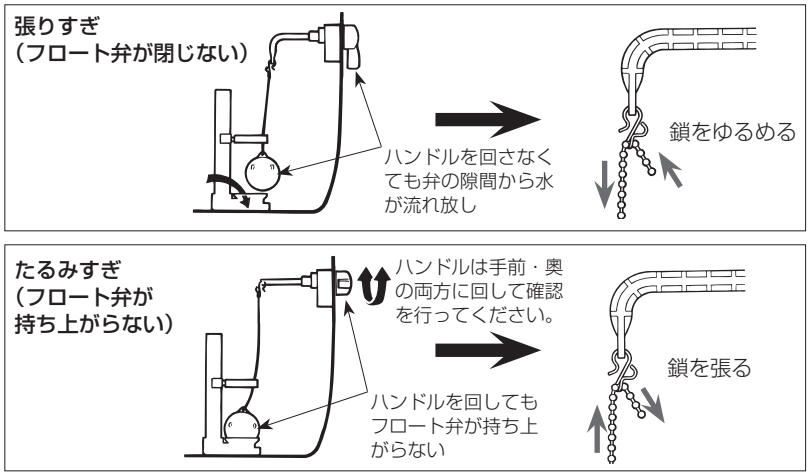
(1) レバーの先端を垂直にたらしたまま、フロート弁が上がらない程度に鎖を張り、フックの鎖掛け部に合わせます。

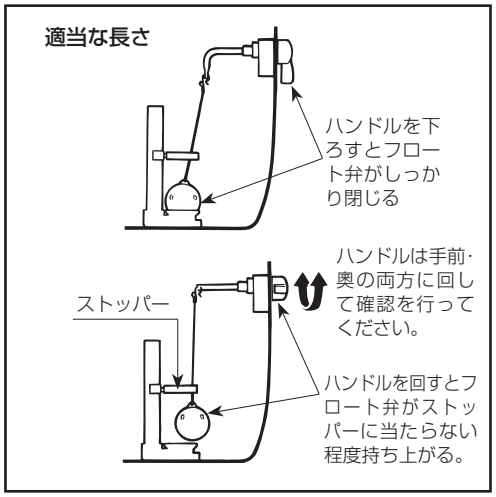
(2) 合わせた玉から 2 ～ 3 個ゆるめて、鎖掛け部に鎖をかけます。

(3) 洗浄ハンドルを操作してレバーおよびフロート弁がスムーズに動くことを確認します。

注意 3

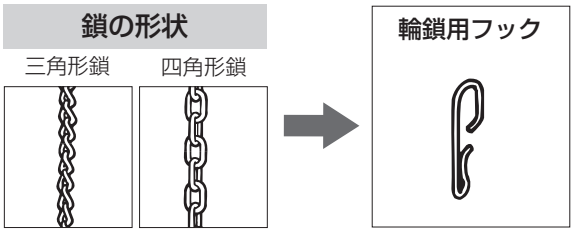






鎖を調べて、適切なフックをお選びください。

鎖の形状によってフックが異なります。
右記の形状の場合は、輪鎖用フックを使用してください。



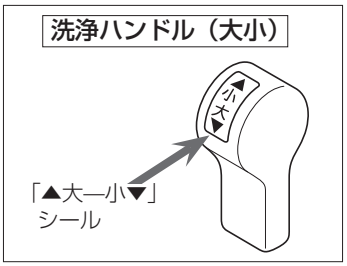
注 意 3

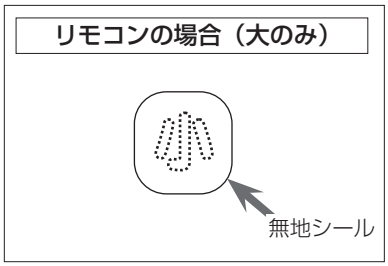
● **鎖やレバーが浮玉など他のものに触れて、動作の妨げにならないことを確認してください。**
また、鎖の張りすぎやたるみすぎがないことを確認してください。
※ 十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる原因となります。

INAX 便器への施工方法

5 シールの貼付け

便器によって貼るシールが異なります。下の表にしたがって適切なシールを洗浄ハンドルおよびリモコンの流すスイッチ「小」に貼ってください。





※リモコンによりシールの形状、貼り付け方が異なります。
シールはリモコンに同梱してあるものをお使いください。

シリーズ名		代表品番 便器部	代表品番 タンク部	シール 洗浄ハンドル	シール リモコン
W節水便器	アメージュ V	BC-320(S,SU) BC-320(P,PU) BC-360PU	DT-V180(U,MU,N,UN) DT-V150(U,MU,N,UN)	使用シール ▲小 大▼	不要
	アメージュ V（リトイレ）	BC-340(S,SU)	DT-V180H(U) DT-V150H(U)		
	アメージュ C（98,6/21～）	BC-110(SU,ST,STU) BC-110(PU,PT,PTU) BC-181S BC-181P	DT-C180U(N) DT-3810(N) DT-C150U(N) DT-3510(N) DT-2810(N) DT-2510(N)		
	車いす対応便器	BC-220SK	DT-K180 DT-K150		
	アメージュ G アメージュ M（98,6/21～） アメージュ M 脱臭（98,6/21～）	BC-120SU BC-120PU BC-130(S,SU) BC-220S BC-220(P,PU)	DT-2820(N) DT-4820 DT-2520(N) DT-4520 DT-2821(N) DT-2521(N) DT-3820(U,N) DT-3520(U,N) (DT-3520UML は除く)		
	リトイレ	BC-150S BC-250S	DT-2820(N) DT-3520(H,HU) DT-2520(N) DT-4820H DT-3820(H,HU) DT-4520H		
	コンパクトリトイレ	BC-140S BC-240S	DT-2810H DT-3810(H,HU) DT-2510H DT-3510(H,HU)		
	その他の W 節水便器	C-100S BC-260P C-100P BC-270S C-180S BC-270P C-180P BC-370SX BC-160S BC-370PX BC-170S BC-600S BC-260S	DT-B180(X,XU) DT-3840(N) DT-B150(X,XU) DT-3540(N) DT-680S DT-3850(N) DT-650S DT-3550(N) DT-2860(N) DT-3860 DT-2560(N) DT-3560 DT-2870(N) DT-3870 DT-2570(N) DT-3570 DT-3800 DT-4870 DT-3500 DT-4570		
アメージュ C（～98,6/20）		BC-110S BC-110P	DT-1810(S,P) DT-1510(S,P)	不要	使用シール 壁リモコンの場合 □ インテリアリモコンの場合 ○ （どちらも無地）
アメージュ M（～98,6/20） アメージュ M 脱臭（～98,6/20）		BC-120(S,SU) BC-120(P,PU)	DT-1820(S,P) DT-1520(S,P) DT-1821S DT-1521S		
アメージュ アメージュ脱臭		BC-880S BC-881S BC-850S BC-851S DC-880(S,P) DC-881S DC-850(S,P) DC-851S			
その他の便器		C-18(S) C-54(S,SU) C-18(P,PU) C-LN-S C-20S C-LN-P C-20P BC600S C-44(S,SU,ST) SC-10 C-44P SC-20 C-45(P,PU) SC-30	(D)T-810(U) DT-680 (D)T-510(U) DT-650 (D)T-810(U)Z DT-LN (D)T-510(U)Z DT-5LN (D)T-810XU(Z) (D)T-510XU(Z) (D)T-811(Z) (D)T-511(Z)		

※ 上記品番は代表品番です。寒冷地仕様（ヒーター便器”H”，流動”W”，水抜きタンク”N”）やプロガード”G”仕様などの各バリエーションにも対応可能です。

6 洗浄ユニットコードの接続と取回し（37 ページ参照）

7 便器洗浄モードの設定（41 ページ参照）

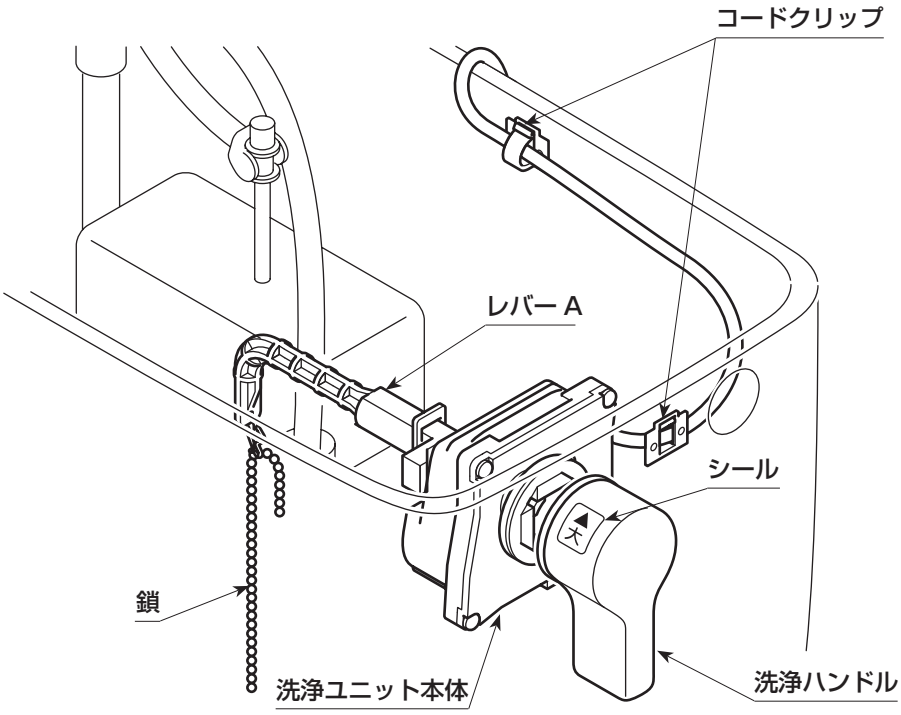
※設定しないと洗浄不良の原因となります。

8 試運転（43 ページ参照）

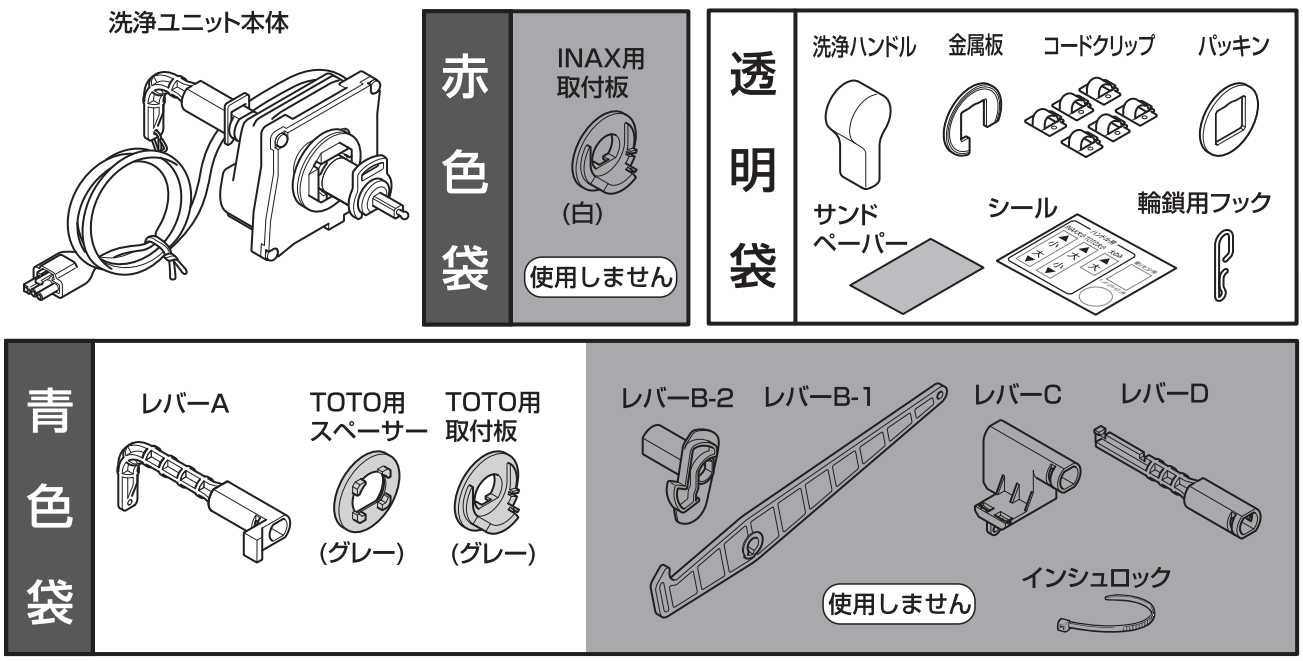
■ 施工完了図

【作業手順】

1 取付前準備 (14 ページ)
2 既存洗浄ハンドルの取外し (14 ページ)
3 洗浄ユニット取付前部品準備 (14 ページ)
4 洗浄ユニット本体のセット (15 ページ)
5 洗浄ユニット本体の取付け (16 ページ)
6 シールの貼付け (17 ページ)
7 洗浄ユニットコードの接続と取回し (37 ページ)
8 便器洗浄モードの設定 (41 ページ)
9 試運転 (43 ページ)



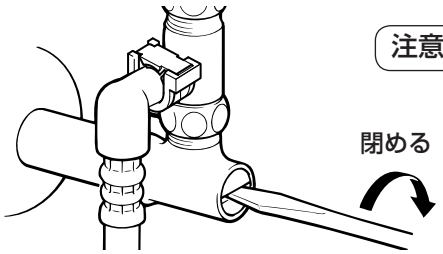
■ 使用部品（下図にしたがって必要な部品だけを使用してください。）



：この範囲内の部品は使用しませんので、袋から取り出さないでください。

1 取付前準備

1. 止水栓を閉めてタンクへの給水を止めます。
2. 洗浄ハンドルを操作してタンクから水を抜きます。
3. ロータンクフタを取り外します。 参考 1

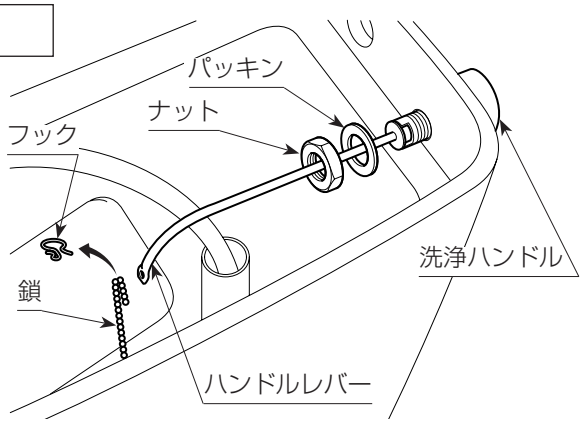


2 既存洗浄ハンドルの取外し

既存の洗浄ハンドルおよびハンドルレバーを取り外します。

ハンドルレバーからフックと鎖を外します。

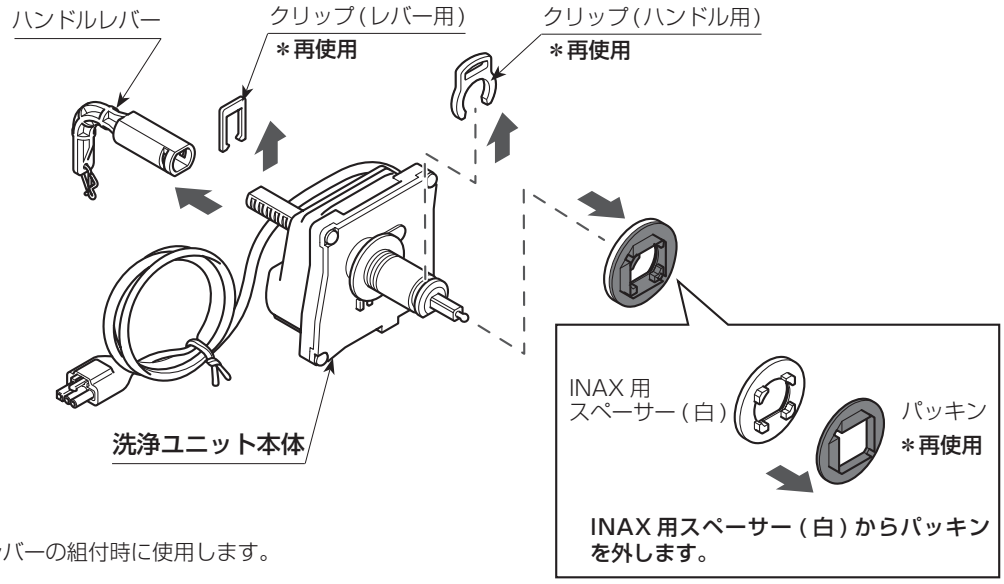
※ 機種または製造時期によってナットやパッキン・ハンドルレバーの形状が異なる場合があります。



3 洗浄ユニット取付前部品準備

洗浄ユニット本体から取り外した部品を再使用する場合がありますので、取り外しの際は、破損しないようにご注意ください。

1. 洗浄ユニット本体から下記のように各部品を取り外します。



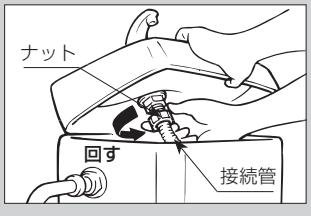
＊再使用：TOTO 用レバーの組付時に使用します。

注 意 1

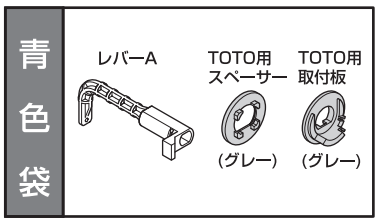
- **止水栓は調節してありますので再使用時、元の位置に戻す必要があります。**
- **手洗吐水口付の場合は、タンクフタを外したら再び取り付けるまで止水栓を開けないでください。トイレ内を濡らす恐れがあります。**

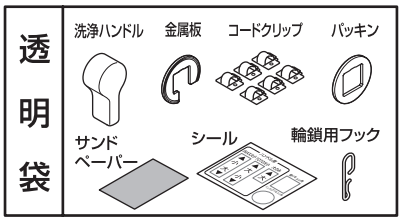
参 考 1

手洗吐水口付の場合は、フタの裏側にナットやクリップで接続管が付いている場合があります。
ナットやクリップを外し、タンクフタから接続管を外します。

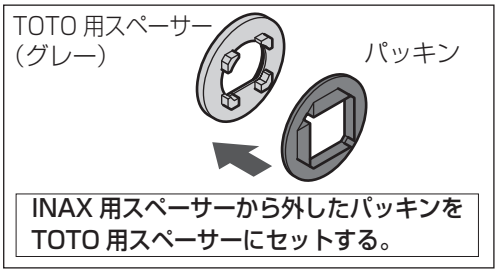


2. **青色袋からレバー A と TOTO 用スペーサー (グレー)、TOTO 用取付板 (グレー) およびクリップ (レバー用) を取り出します。**（青色袋内のその他の部品は使用しません）
3. **透明袋を開封し、部品の準備をします。**





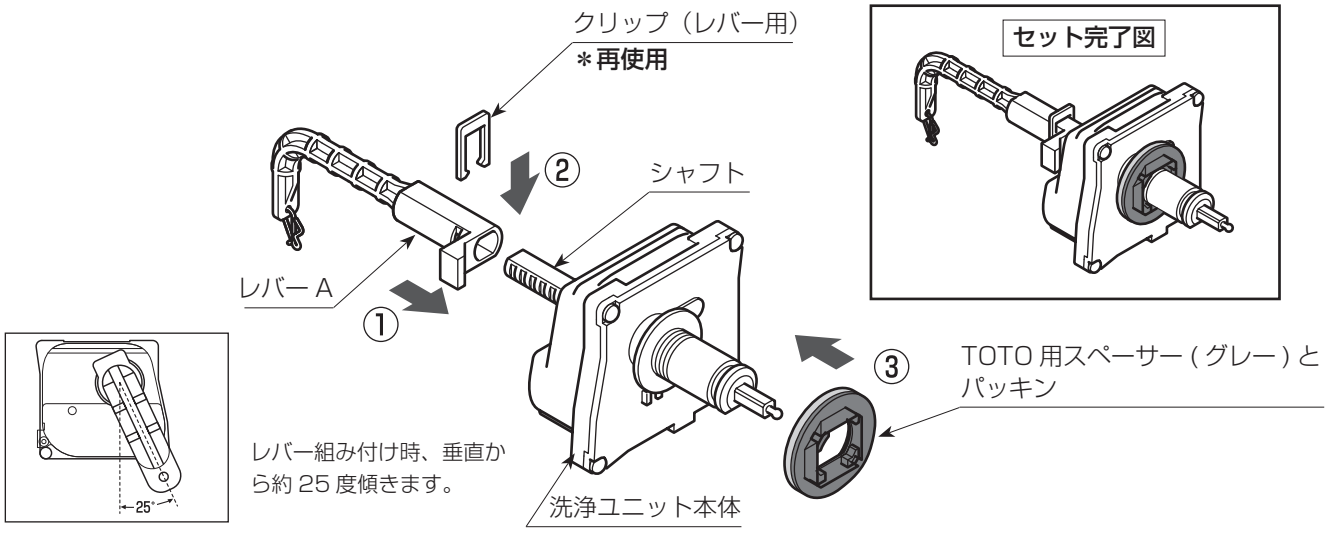
4. **TOTO 用スペーサー (グレー) にパッキンを取り付けます。**
   ※ パッキンは、前ページで INAX 用スペーサーから外したパッキンです。必ず、TOTO 用スペーサーに取り付けてください。



4 洗浄ユニット本体のセット

1. **レバー A とハンドルレバーを洗浄ユニット本体にセットします。**
   レバー A をシャフトの**一番奥まで**差し込み①、クリップ (レバー用) で固定します。②
2. **TOTO 用スペーサー (グレー) を洗浄ユニット本体に取り付けます。**・・・③

注意 2



注 意 2

● **レバー類は必ず、奥まで差し込み、クリップで確実に固定してください。**
※ 長さが合わないと洗浄不良になります。また、クリップが途中までしか差し込んでいないと、外れて洗浄不能になります。

5 洗浄ユニット本体の取付け

1. TOTO 用取付板 (グレー) に金属板とパッキンをセットします。

※ 金属板とパッキンは必ず、取り付けてください。取り付けないと取付板が変形し、破損の原因となります。

2. タンク穴に洗浄ユニット本体のハンドル接続部を通します。・・・①

注意 3

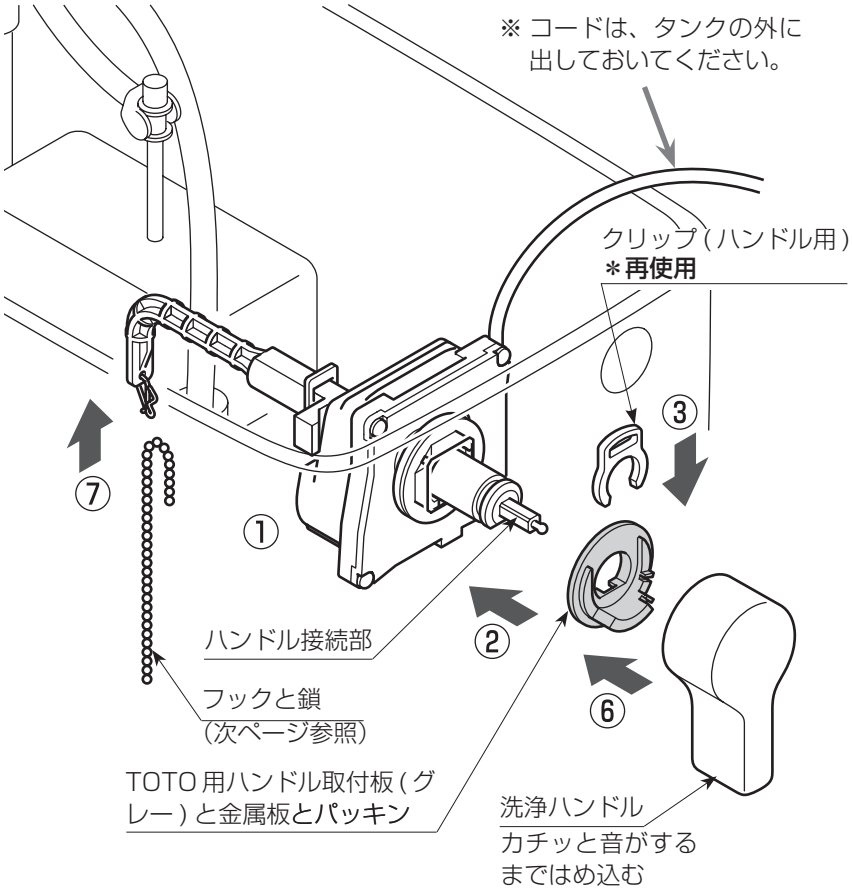
3. 洗浄ユニット本体を固定します。

(1) TOTO 用取付板 (グレー) をハンドル接続部に差し込み②、クリップ (ハンドル用) で固定します。③

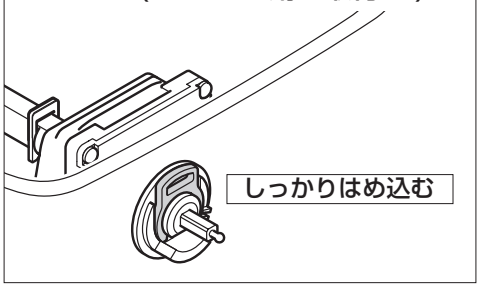
※ クリップ (ハンドル用) は、ハンドル接続部の溝に確実にはめ込んでください。・・・④

(2) 本体のナットを工具を使って締め付けます。（締付トルク：2.5 ～ 3.0 N·m）・・・⑤

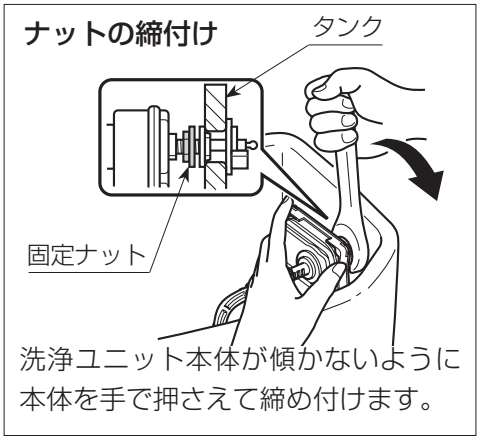
4. 洗浄ハンドルを取り付けます。・・・⑥



④



⑤



注 意 3

- **洗浄ユニット本体をタンク内に落とさないでください。**
  ※ 本体内部に水が浸入して破損する恐れがあります。
- **本体が傾かないように注意してください。**
  ※ 本体が傾くと洗浄不良の原因になります。
- **クリップ (ハンドル用) はしっかりはめ込んでください。**
  ※ はまっていないと洗浄不良の原因になります。
- **固定用ナットの締付トルクは、2.5 ～ 3.0 N·m が適正です。**
  ※ 締付けが緩いと洗浄不良になる恐れがあります。
  ※ 締め過ぎると破損する恐れがあります。

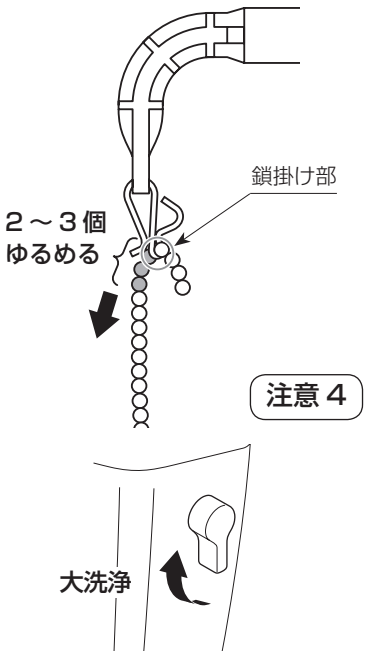
5. 鎖の長さを調節します。・・・⑦

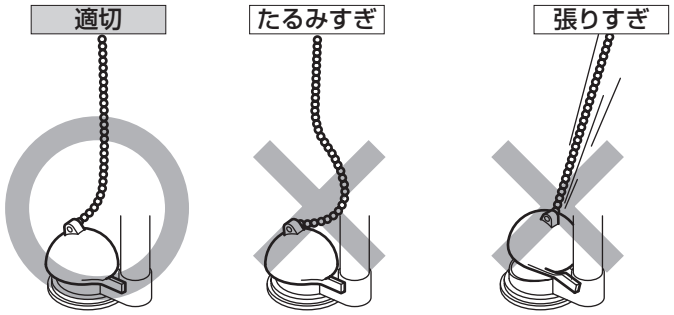
(1) 排水弁が上がらない程度に鎖を張り、フックの鎖掛け部に合わせます。

(2) 合わせた玉から 2 ～ 3 個ゆるめて、鎖掛け部に鎖をかけます。

(3) 洗浄ハンドルを操作してレバーおよび排水弁がスムーズに動くことを確認します。

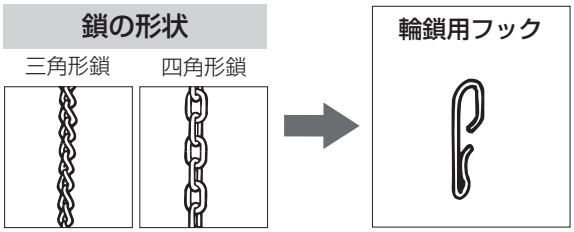
※ ハンドルは、大洗浄方向しか回りません。





鎖を調べて、適切なフックをお選びください。

鎖の形状によってフックが異なります。
右記の形状の場合は、輪鎖用フックを使用してください。



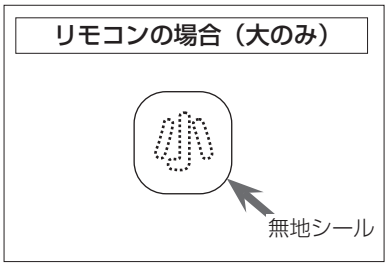
6 シールの貼付け

1. 洗浄ハンドルにハンドル用の大のみシール（▲大）のシールを右図のようにしっかり貼り付けます。

注 意 4

● **鎖やレバーが浮玉など他のものに触れて、動作の妨げにならないことを確認してください。**
また、鎖の張りすぎやたるみすぎがないことを確認してください。
※ 十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる原因となります。

2. リモコンの「小」スイッチにシールを下図のようにしっかり貼り付けます。



7 洗浄ユニットコードの接続と取回し（37 ページ参照）

8 便器洗浄モードの設定（41 ページ参照）

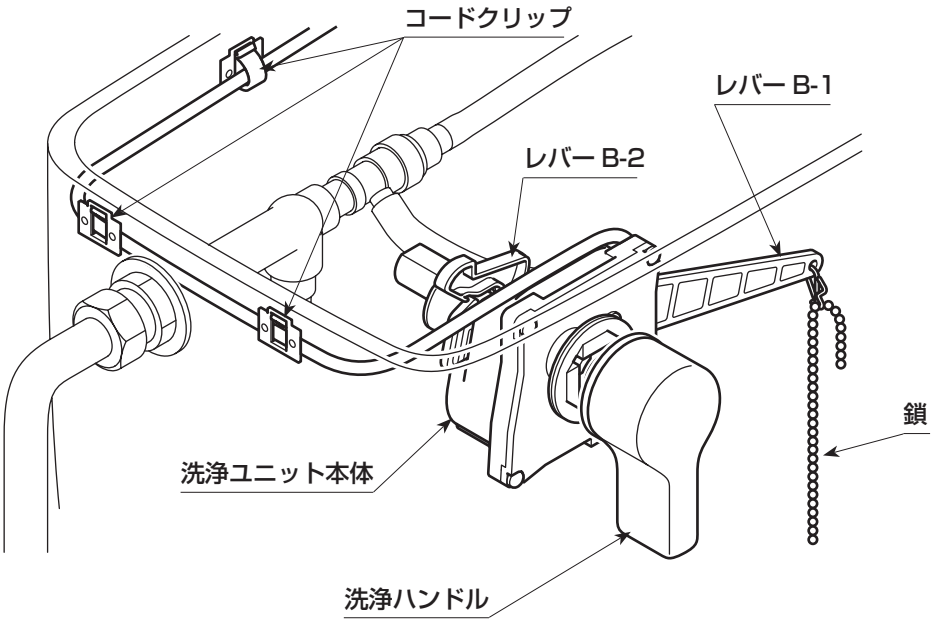
※設定しないと洗浄不良の原因となります。

9 試運転（43 ページ参照）

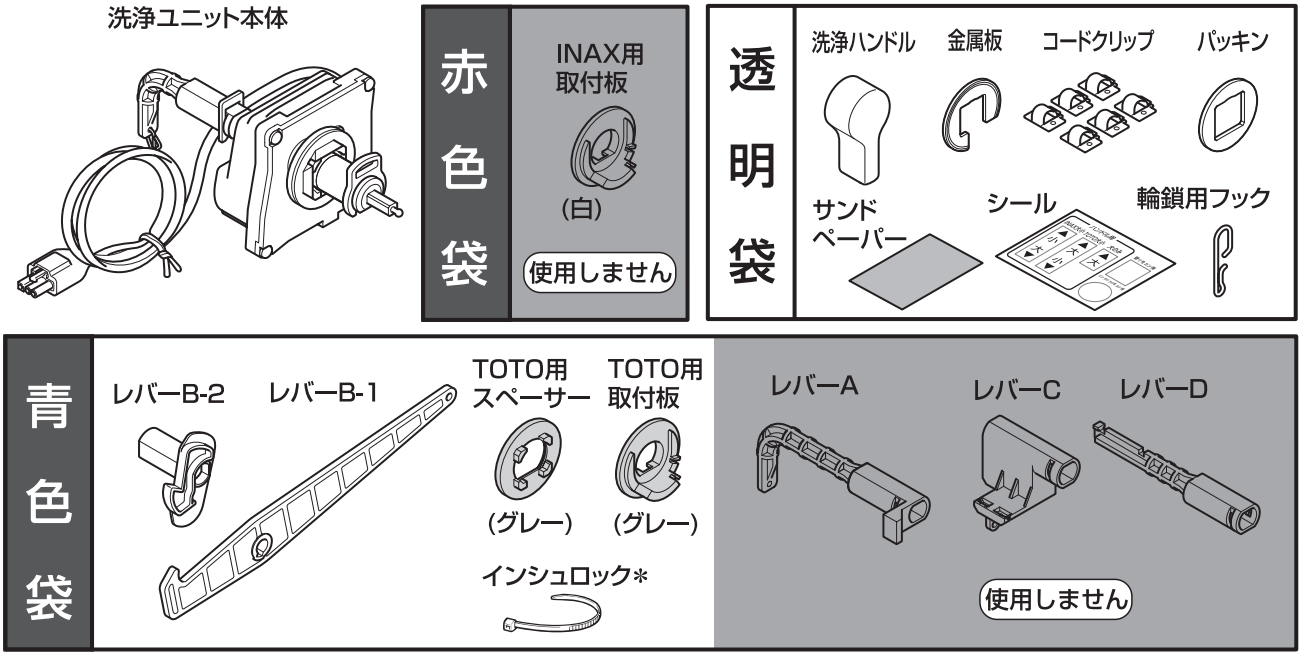
■ 施工完了図

【作業手順】

1 取付前準備 (20 ページ)
2 既存洗浄ハンドルの取外し (20 ページ)
3 洗浄ユニット取付前部品準備 (20 ページ)
4 洗浄ユニット本体のセット (21 ページ)
5 洗浄ユニット本体の取付け (22 ページ)
6 シールの貼付け (23 ページ)
7 洗浄ユニットコードの接続と取回し (37 ページ)
8 便器洗浄モードの設定 (43 ページ)
9 試運転 (43 ページ)



■ 使用部品（下図にしたがって必要な部品だけを使用してください。）

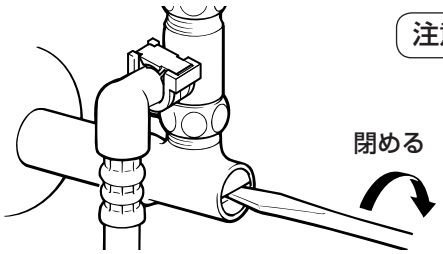


*：インシュロックは、レバーとタンク内部の部品が干渉する場合に使用します。

：この範囲内の部品は使用しませんので、袋から取り出さないでください。

1 取付前準備

1. 止水栓を閉めてタンクへの給水を止めます。
2. 洗浄ハンドルを操作してタンクから水を抜きます。
3. ロータンクフタを取り外します。 参考 1

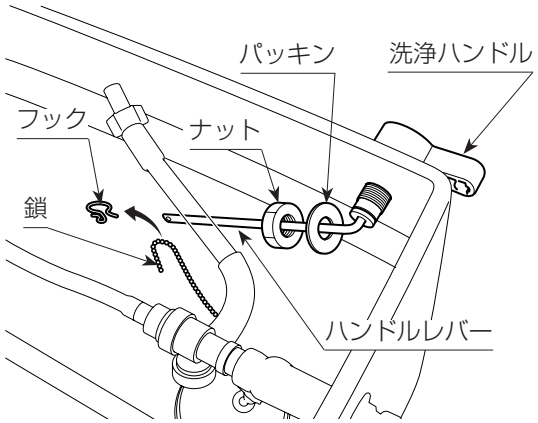


2 既存洗浄ハンドルの取外し

既存の洗浄ハンドルおよびハンドルレバーを取り外します。

ハンドルレバーからフックと鎖を外します。

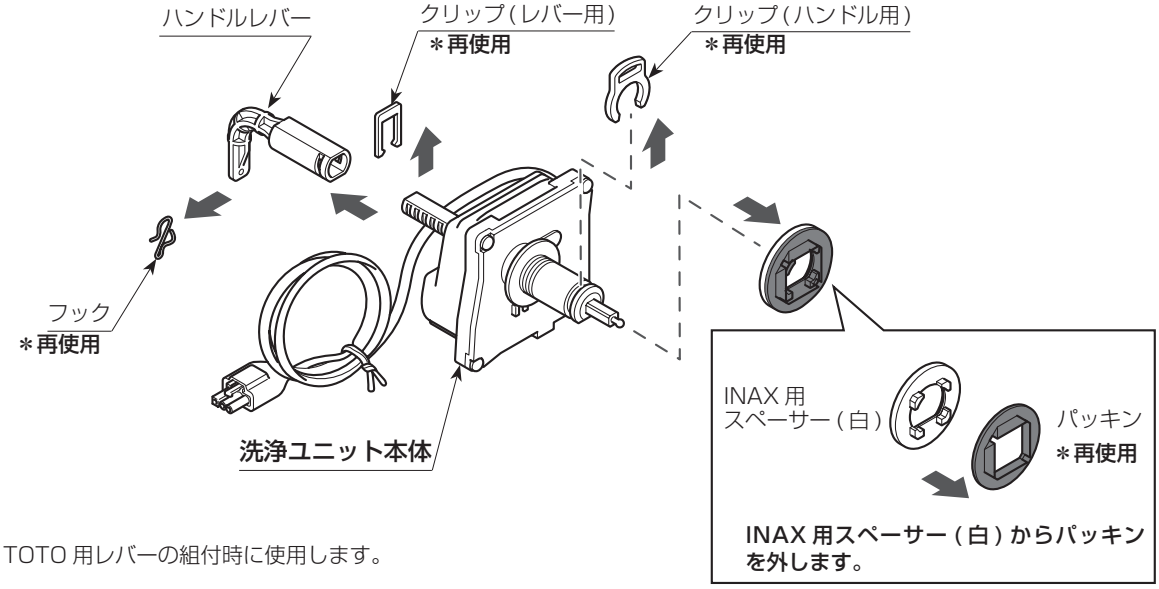
※ 機種または製造時期によってナットやパッキン・ハンドルレバーの形状が異なる場合があります。



3 洗浄ユニット取付前部品準備

洗浄ユニット本体から取り外した部品を再使用する場合がありますので、取り外しの際は、破損しないようにご注意ください。

1. 洗浄ユニット本体から下記のように各部品を取り外します。



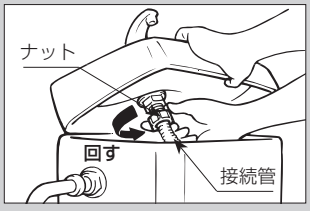
＊**再使用**：TOTO 用レバーの組付時に使用します。

注 意 1

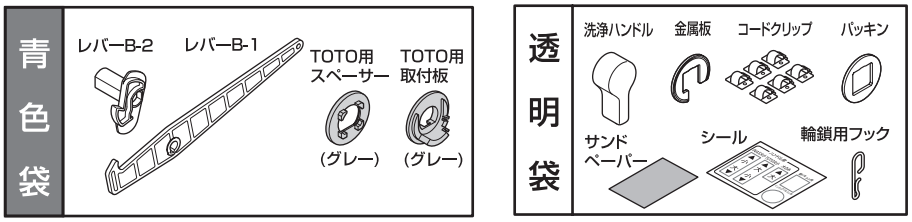
- **止水栓は調節してありますので再使用時、元の位置に戻す必要があります。**
- **手洗吐水口付の場合は、タンクフタを外したら再び取り付けるまで止水栓を開けないでください。トイレ内を濡らす恐れがあります。**

参 考 1

手洗吐水口付の場合は、フタの裏側にナットやクリップで接続管が付いている場合があります。
ナットやクリップを外し、タンクフタから接続管を外します。

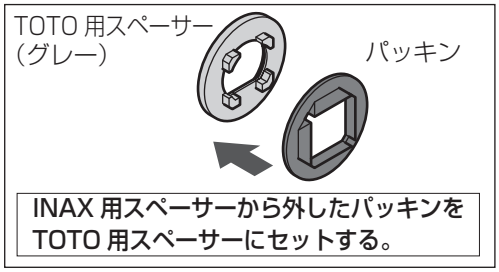


2. **青色袋からレバー B-1, B-2 と TOTO 用スペーサー (グレー)、TOTO 用取付板 (グレー) およびクリップ (レバー用) を取り出します。**（青色袋内のその他の部品は使用しません）
3. **透明袋を開封し、部品の準備をします。**



4. **TOTO 用スペーサー (グレー) にパッキンを取り付けます。**

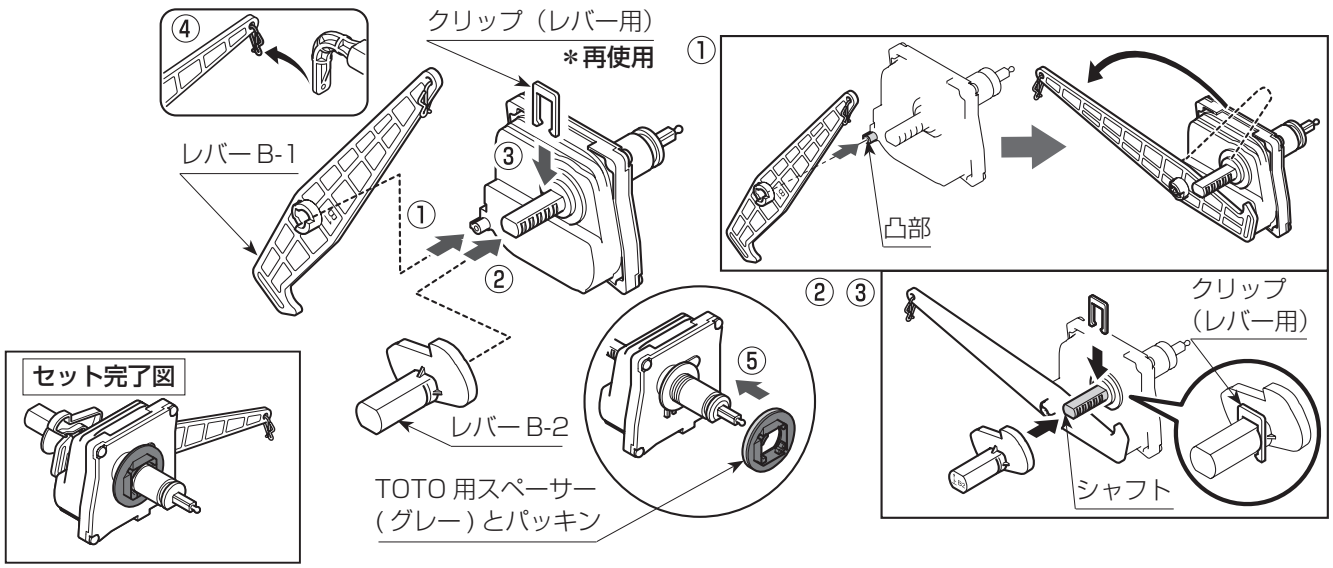
※ パッキンは、前ページで INAX 用スペーサーから外したパッキンです。必ず、TOTO 用スペーサーに取り付けてください。



4 洗浄ユニット本体のセット

1. **レバー B-1 と B-2 を洗浄ユニット本体にセットします。**
   (1) レバー B-1 を立てた状態で洗浄ユニット本体左下の**凸部**に差し込み、回して横にします。①
   (2) レバー B-2 を**シャフトの一番奥まで**差し込み②、**溝**にクリップ (レバー用) を入れて固定します。(3 番目の溝) ③
   (3) ハンドルレバーから外したフックをレバー B-1 に取り付けます。④
2. **TOTO 用スペーサー (グレー) を洗浄ユニット本体に取り付けます。**・・・⑤

注意 2



注 意 2

- **レバー類は必ず、奥まで差し込み、クリップで確実に固定してください。**
  ※ 長さが合わないと洗浄不良になります。また、クリップが途中までしか差し込んでいないと、外れて洗浄不能になります。

注 意 3

- **洗浄ユニット本体をタンク内に落とさないでください。**
  ※ 本体内部に水が浸入して破損する恐れがあります。
- **本体が傾かないように注意してください。**
  ※ 本体が傾くと洗浄不良の原因になります。

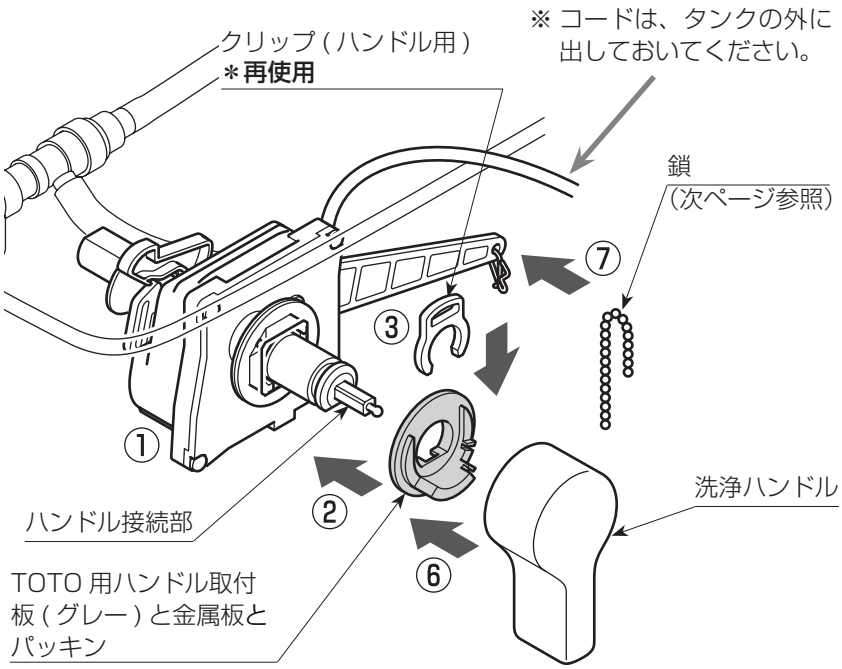
5 洗浄ユニット本体の取付け

1. **TOTO 用取付板 (グレー) に金属板とパッキンをセットします。**
   ※ 金属板とパッキンは必ず、取り付けてください。取り付けないと取付板が変形し、破損の原因となります。

2. **タンク穴に洗浄ユニット本体のハンドル接続部を通します。**・・・① 注意 3

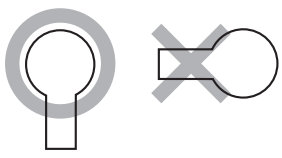
3. **洗浄ユニット本体を固定します。**
   (1) TOTO 用取付板 (グレー) をハンドル接続部に差し込み②、クリップ (ハンドル用) で固定します。③
   ※ クリップ (ハンドル用) は、ハンドル接続部の溝に確実にはめ込んでください。・・・④
   (2) 本体のナットを工具を使って締め付けます。（締付トルク：2.5 ～ 3.0 N·m）・・・⑤ 注意 4

4. **洗浄ハンドルを取り付けます。**・・・⑥ 注意 5



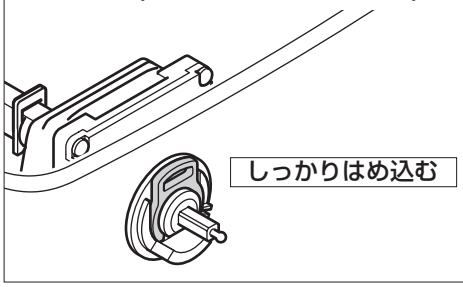
下に向け、カチッと音がするまではめ込みます。

洗浄ハンドルの向き



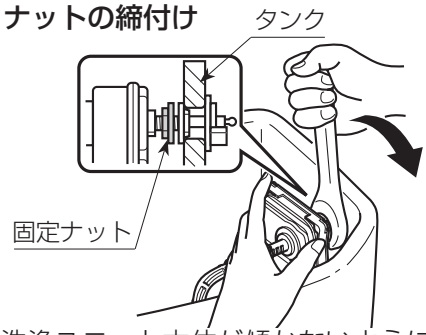
④

クリップ (ハンドル用の取付け)



⑤

ナットの締付け



洗浄ユニット本体が傾かないように本体を手で押さえて締め付けます。

注 意 4

- **クリップ (ハンドル用) はしっかりはめ込んでください。**
  ※ はまっていないと洗浄不良の原因になります。
- **固定用ナットの締付トルクは、2.5 ～ 3.0 N · m が適正です。**
  ※ 締付けが緩いと洗浄不良になる恐れがあります。
  ※ 締め過ぎると破損する恐れがあります。

注 意 5

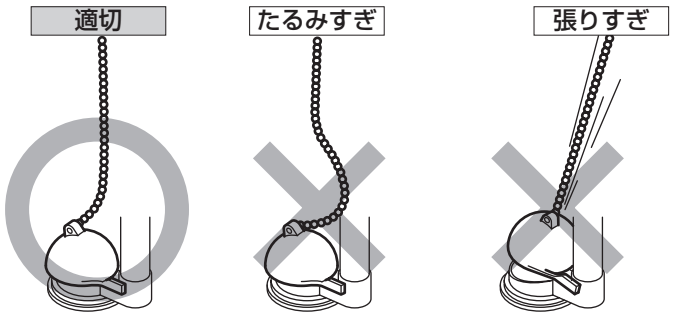
- **洗浄ユニットのハンドルは、上図のようにレバー部が下に向くように取り付けてください。既設（TOTO）ハンドルとは向きが異なります。**
  ※ 止水不良の原因になります。

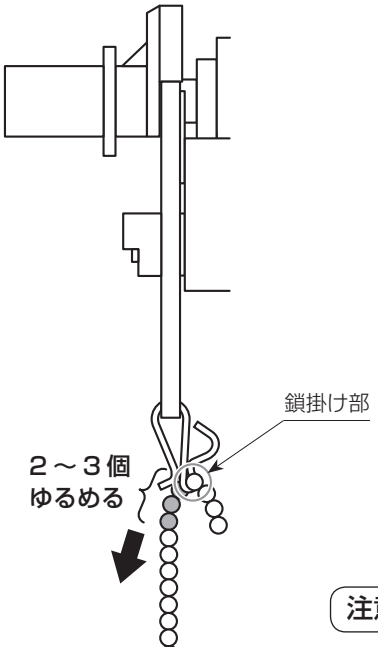
5. 鎖の長さを調節します。・・・⑦

(1) 排水弁が上がらない程度に鎖を張り、フックの鎖掛け部に合わせます。

(2) 合わせた玉から２～３個ゆるめて、鎖掛け部に鎖をかけます。

(3) 洗浄ハンドルを操作してレバーおよび排水弁がスムーズに動くことを確認します。

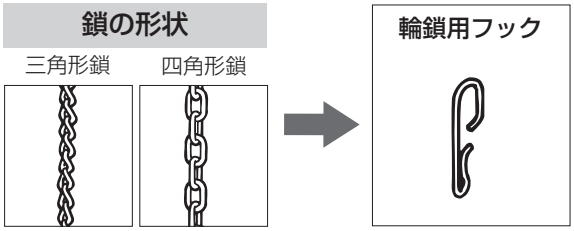




注意６

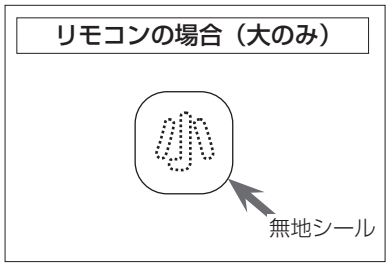
鎖を調べて、適切なフックをお選びください。

鎖の形状によってフックが異なります。
右記の形状の場合は、輪鎖用フックを使用してください。



6 シールの貼付け

リモコンの「小」スイッチにシールを下図のようにしっかり貼り付けます。



注 意 6

● **鎖やレバーが浮玉など他のものに触れて、動作の妨げにならないことを確認してください。**
また、鎖の張りすぎやたるみすぎがないことを確認してください。
※ 十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる原因となります。

7 洗浄ユニットコードの接続と取回し（37 ページ参照）

8 便器洗浄モードの設定（41 ページ参照）

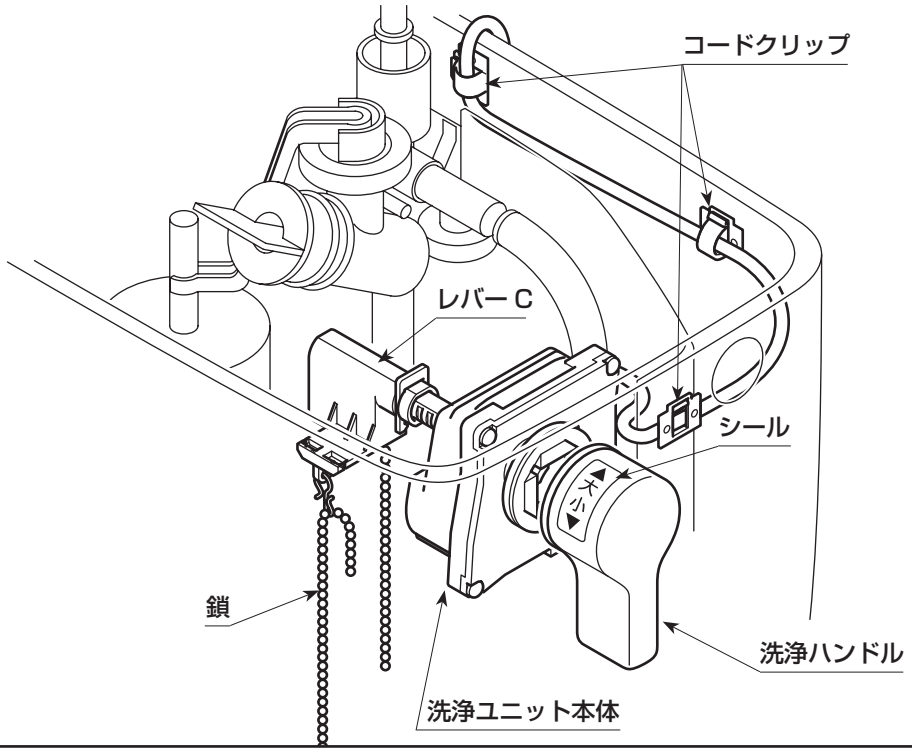
※設定しないと洗浄不良の原因となります。

9 試運転（43 ページ参照）

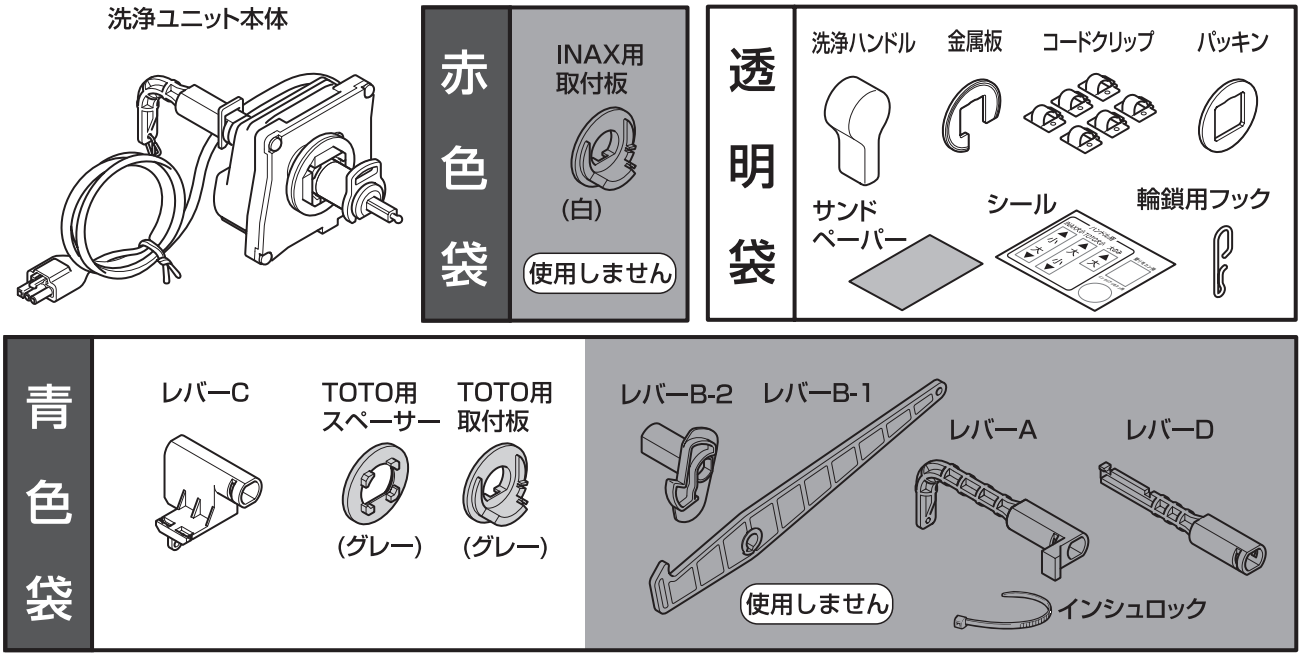
■ 施工完了図

【作業手順】

1 取付前準備 (26 ページ)
2 既存洗浄ハンドルの取外し (26 ページ)
3 洗浄ユニット取付前部品準備 (26 ページ)
4 洗浄ユニット本体のセット (27 ページ)
5 洗浄ユニット本体の取付け (28 ページ)
6 シールの貼付け (29 ページ)
7 洗浄ユニットコードの接続と取回し (37 ページ)
8 便器洗浄モードの設定 (41 ページ)
9 試運転 (43 ページ)



■ 使用部品（下図にしたがって必要な部品だけを使用してください。）

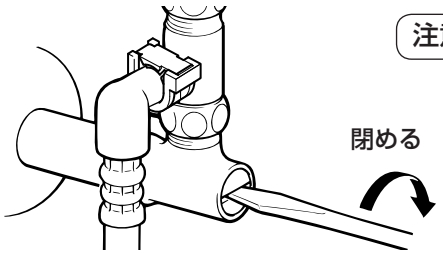


：この範囲内の部品は使用しませんので、袋から取り出さないでください。

1 取付前準備

1. 止水栓を閉めてタンクへの給水を止めます。
2. 洗浄ハンドルを操作してタンクから水を抜きます。
3. ロータンクフタと中フタを取り外します。 参考 1

注意 1



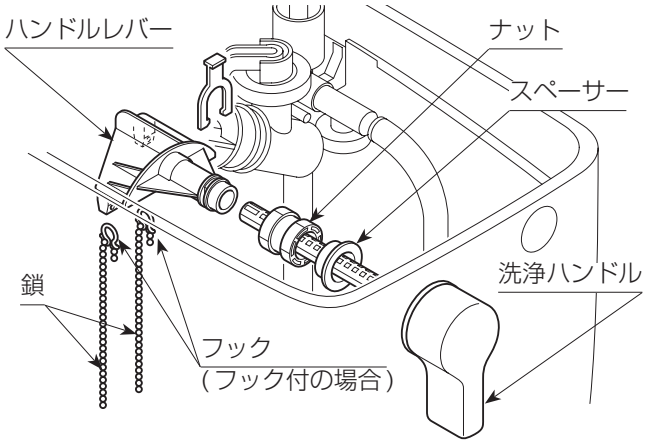
2 既存洗浄ハンドルの取外し

既存の洗浄ハンドルおよびハンドルレバーを取り外します。

フック付の場合：ハンドルレバーから 2 本の鎖をフックごと外します。

フック無の場合：ハンドルレバーから 2 本の鎖を外します。

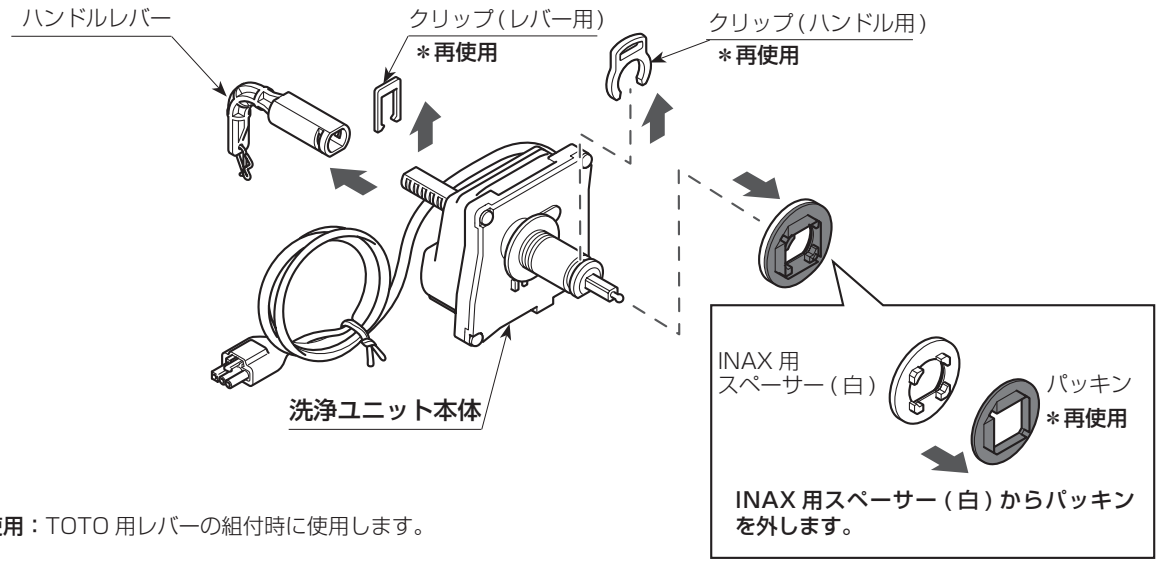
※ 機種または製造時期によってナットやパッキン・ハンドルレバーの形状が異なる場合があります。



3 洗浄ユニット取付前部品準備

洗浄ユニット本体から取り外した部品を再使用する場合がありますので、取り外しの際は、破損しないようにご注意ください。

1. 洗浄ユニット本体から下記のように各部品を取り外します。



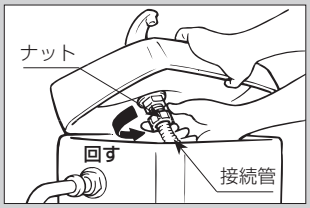
＊**再使用**：TOTO 用レバーの組付時に使用します。

注 意 1

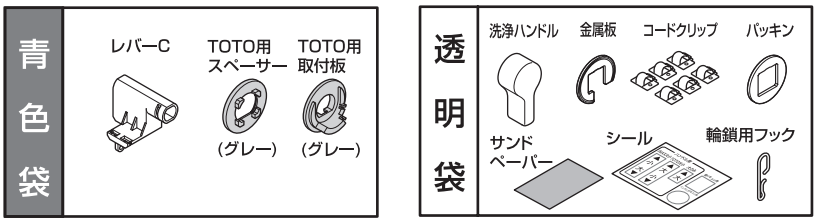
- **止水栓は調節してありますので再使用時、元の位置に戻す必要があります。**
- **手洗吐水口付の場合は、タンクフタを外したら再び取り付けるまで止水栓を開けないでください。トイレ内を濡らす恐れがあります。**

参 考 1

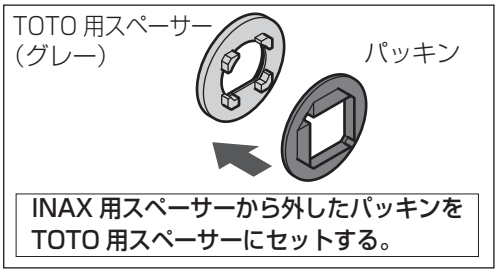
手洗吐水口付の場合は、フタの裏側にナットやクリップで接続管が付いている場合があります。
ナットやクリップを外し、タンクフタから接続管を外します。



2. **青色袋からレバー C と TOTO 用スペーサー (グレー)、TOTO 用取付板 (グレー) およびクリップ (レバー用) を取り出します。**（青色袋内のその他の部品は使用しません）
3. **透明袋を開封し、部品の準備をします。**

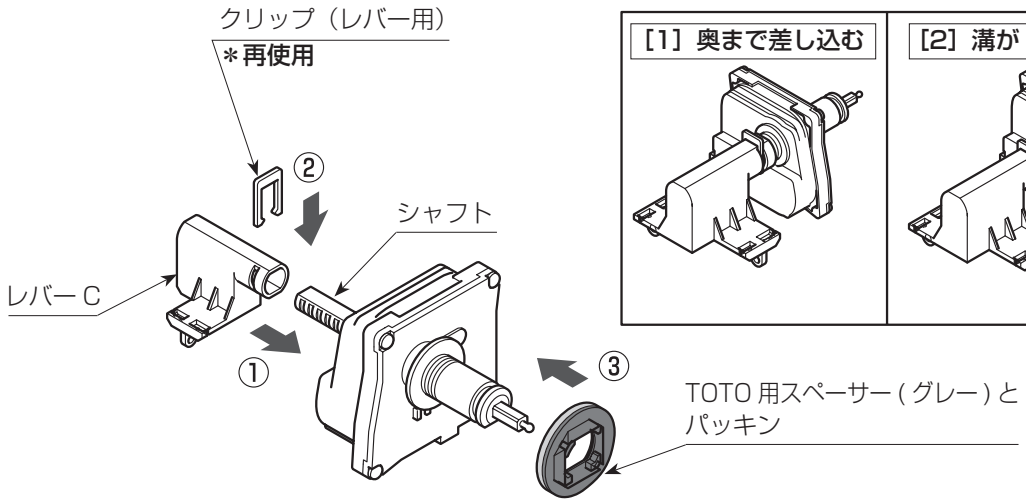


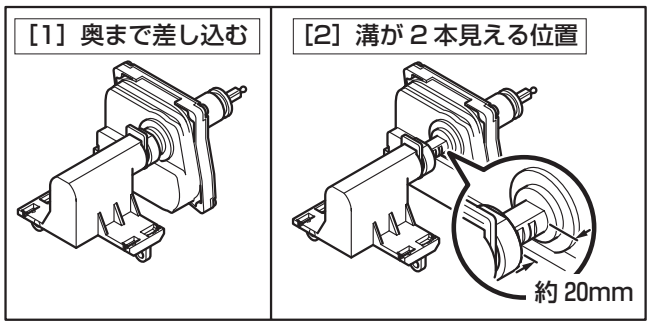
4. **TOTO 用スペーサー (グレー) にパッキンを取り付けます。**
   ※ パッキンは、前ページで INAX 用スペーサーから外したパッキンです。必ず、TOTO 用スペーサーに取り付けてください。



4 洗浄ユニット本体のセット

1. **レバー C を洗浄ユニット本体にセットします。** 注意 2
   【CS670 系便器の場合】:
   レバー C をシャフトの**一番奥まで**差し込み①、クリップ (レバー用) で固定します。②（下記 **【1】** 参照）
   【CS20, CS22, CS30, CS80, CS82, CS90 系便器の場合】:
   レバー C をシャフトに差し込み①、洗浄ユニット本体側から **4 番目の溝**にクリップ (レバー用) を入れて固定します。②（下記 **【2】** 参照）
2. **TOTO 用スペーサー (グレー) を洗浄ユニット本体に取り付けます**・・・③





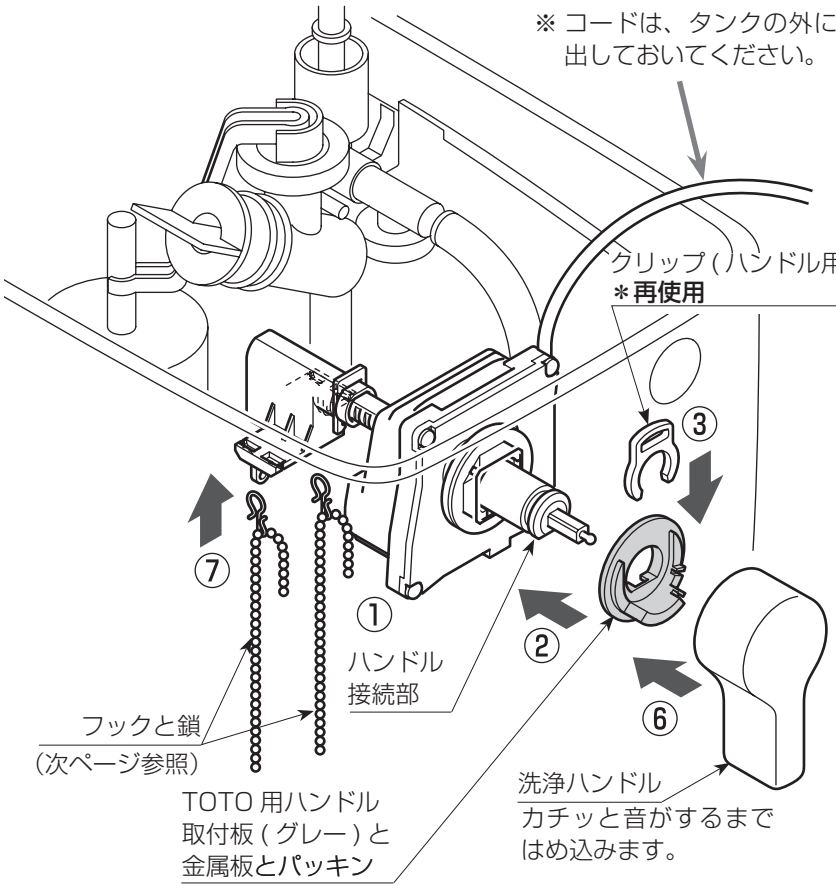
注 意 2

● **レバー類は必ず、決められた位置まで差し込み、クリップで確実に固定してください。**
※ 長さが合わないと洗浄不良になります。また、クリップが途中までしか差し込んでいないと、外れて洗浄不能になります。

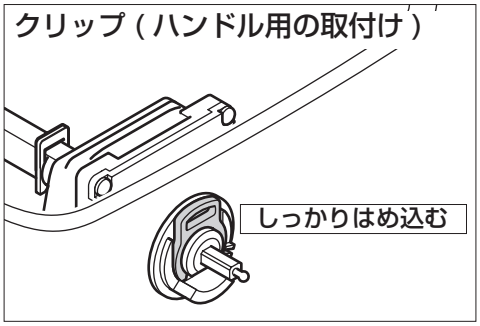
5 洗浄ユニット本体の取付け

1. **TOTO 用取付板 (グレー) に金属板とパッキンをセットします。**
   ※ 金属板とパッキンは必ず、取り付けてください。取り付けないと取付板が変形し、破損の原因となります。
2. **タンク穴に洗浄ユニット本体のハンドル接続部を通します。**・・・①
3. **洗浄ユニット本体を固定します。**
   (1) TOTO 用取付板 (グレー) をハンドル接続部に差し込み②、クリップ (ハンドル用) で固定します。③
   ※ クリップ (ハンドル用) は、ハンドル接続部の溝に確実にはめ込んでください。・・・④
   (2) 本体のナットを工具を使って締め付けます。（締付トルク：2.5 ～ 3.0 N·m）・・・⑤
4. **洗浄ハンドルを取り付けます。**・・・⑥

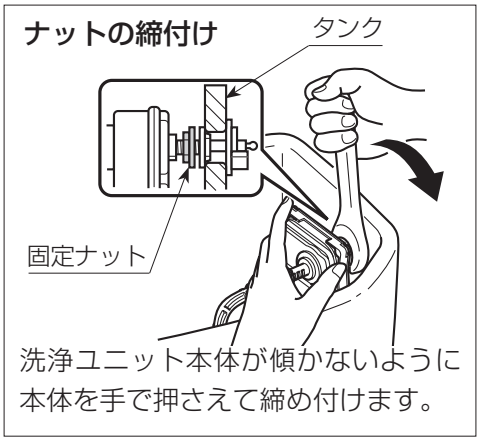
注意 3



④



⑤



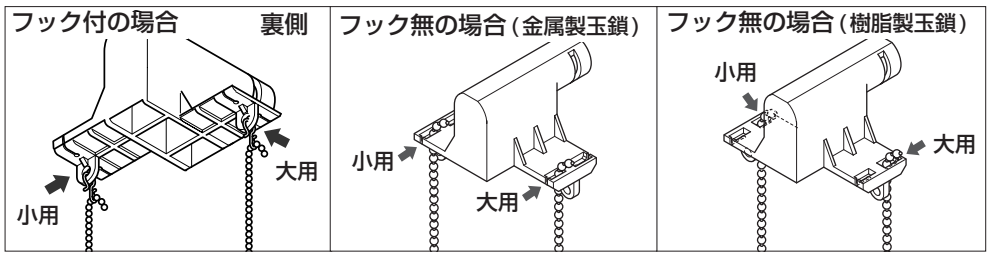
注 意 3

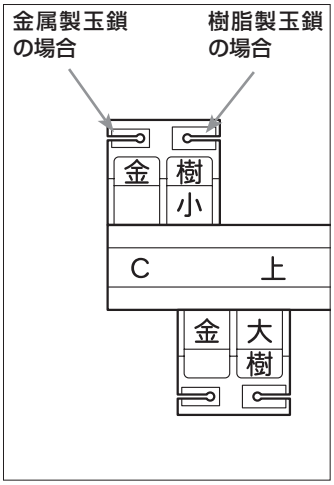
- **洗浄ユニット本体をタンク内に落とさないでください。**
  ※ 本体内部に水が浸入して破損する恐れがあります。
- **本体が傾かないように注意してください。**
  ※ 本体が傾くと洗浄不良の原因になります。
- **インナータンクと陶器の間に部品を落とさないように注意してください。**
- **クリップ (ハンドル用) はしっかりはめ込んでください。**
  ※ はまっていないと洗浄不良の原因になります。
- **固定用ナットの締付トルクは、2.5 ～ 3.0 N·m が適正です。**
  ※ 締付けが緩いと洗浄不良になる恐れがあります。
  ※ 締め過ぎると破損する恐れがあります。

5. 鎖の長さを調節します。・・・⑦

(1) **フック付の場合**、フックをレバーに取り付けます。

(2) レバーを平行に保ち、排水弁が上がらない程度に鎖を張り、**フック付**はフックの鎖掛け部に合わせ、**フック無**はレバーの溝に合わせます。
フック無の場合、金属製は細い溝へ、樹脂製は太い溝へ差し込みます。

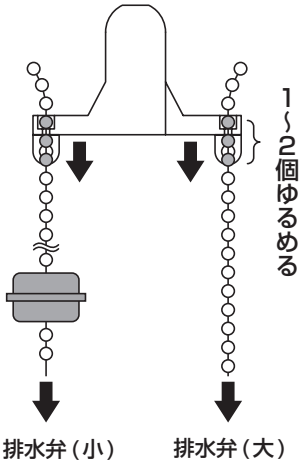


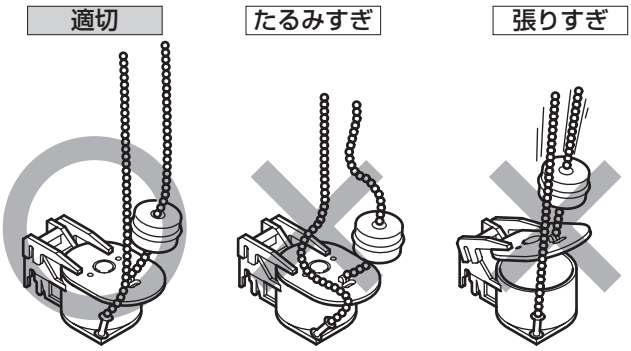


(3) 合わせた玉から 1 ～ 2 個ゆるめて、**フック付**は鎖掛け部に鎖をかけ、**フック無**は溝の奥までしっかり鎖を差し込みます。

(4) 洗浄ハンドルを左右に操作してレバーおよび 2 個の排水弁がスムーズに動くことを確認します。

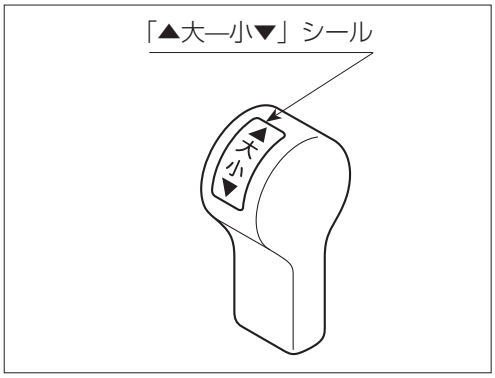
注意 5





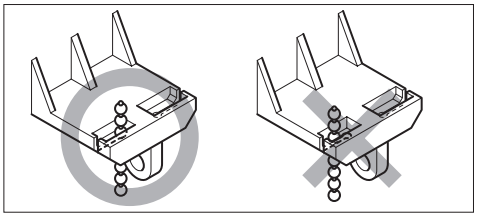
6 シールの貼付け

洗浄ハンドルにハンドル用の TOTO 大小シール（▲大―小▼）のシールを下図のようにしっかり貼り付けます。



注 意 5

- **鎖やレバーが浮玉など他のものに触れて、動作の妨げにならないことを確認してください。**
  また、鎖の張りすぎやたるみすぎがないことを確認してください。
  ※ 十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる原因となります。
- **フック無しの場合、鎖はレバーの溝の一番奥まで差し込んでください。**
  ※ 鎖が外れて洗浄不良の原因になります。



（必ず 5, 6 ページの表にてタイプを確認してください。）

7 洗浄ユニットコードの接続と取回し（37 ページ参照）

8 便器洗浄モードの設定（41 ページ参照）

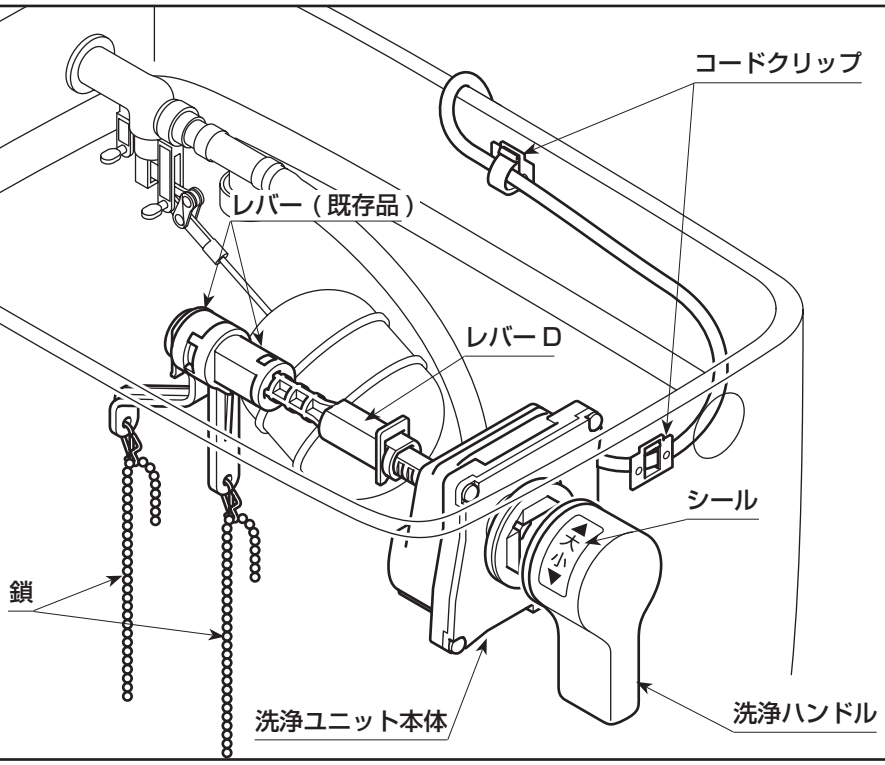
※設定しないと洗浄不良の原因となります。

9 試運転（43 ページ参照）

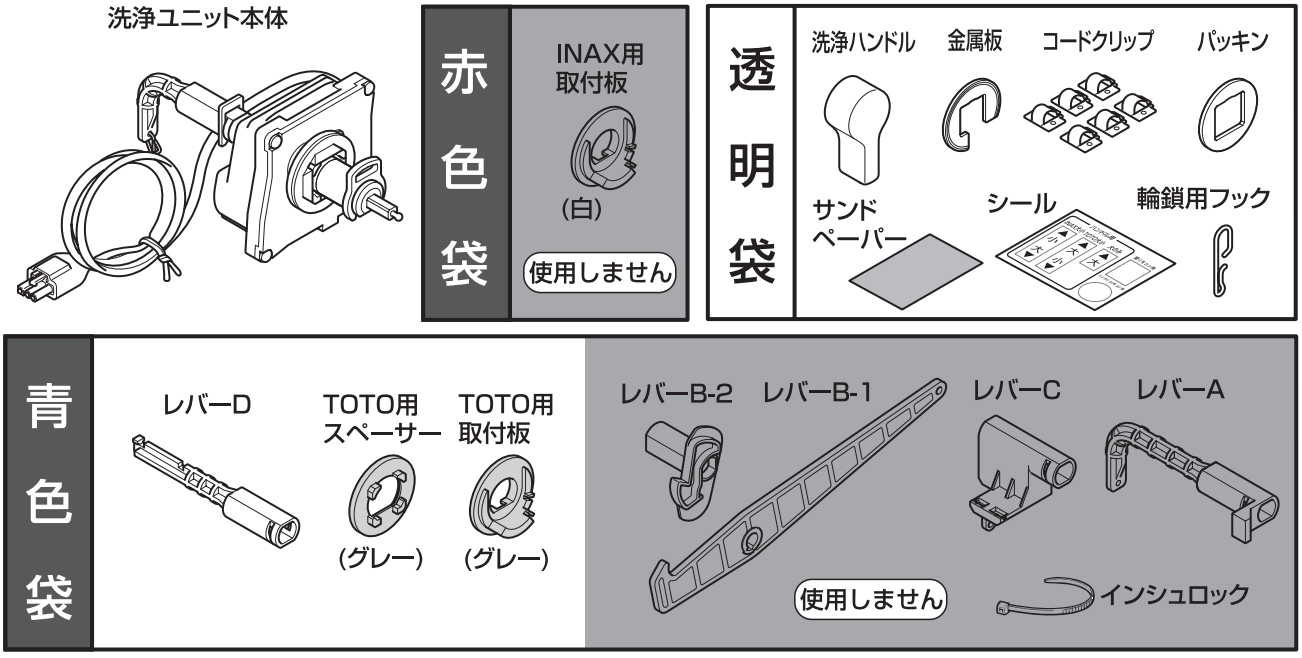
■ 施工完了図

【作業手順】

1 取付前準備 (32 ページ)
2 既存洗浄ハンドルの取外し (32 ページ)
3 洗浄ユニット取付前部品準備 (32 ページ)
4 洗浄ユニット本体のセット (33 ページ)
5 洗浄ユニット本体の取付け (34 ページ)
6 シールの貼付け (35 ページ)
7 洗浄ユニットコードの接続 と取回し (37 ページ)
8 便器洗浄モードの設定 (41 ページ)
9 試運転 (43 ページ)



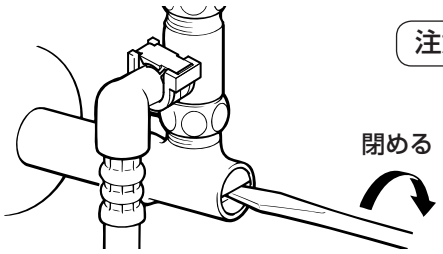
■ 使用部品 (下図にしたがって必要な部品だけを使用してください。)



：この範囲内の部品は使用しませんので、袋から取り出さないでください。

1 取付前準備

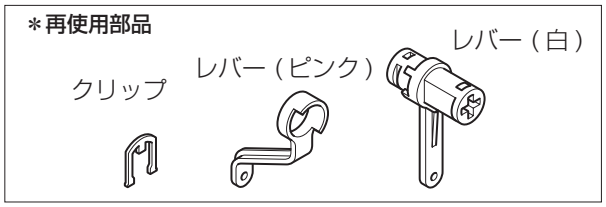
1. 止水栓を閉めてタンクへの給水を止めます。
2. 洗浄ハンドルを操作してタンクから水を抜きます。
3. ロータンクフタを取り外します。 参考 1

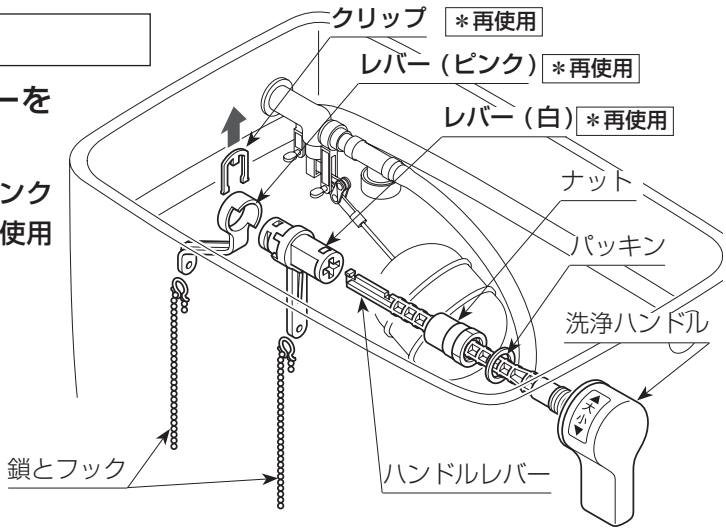


2 既存洗浄ハンドルの取外し

既存の洗浄ハンドルおよびハンドルレバーを取り外します。

右図に示してある（＊再使用）2 個のレバー（ピンクと白）とクリップは、TOTO 用レバーの組付時に使用しますので破損しないように注意してください。

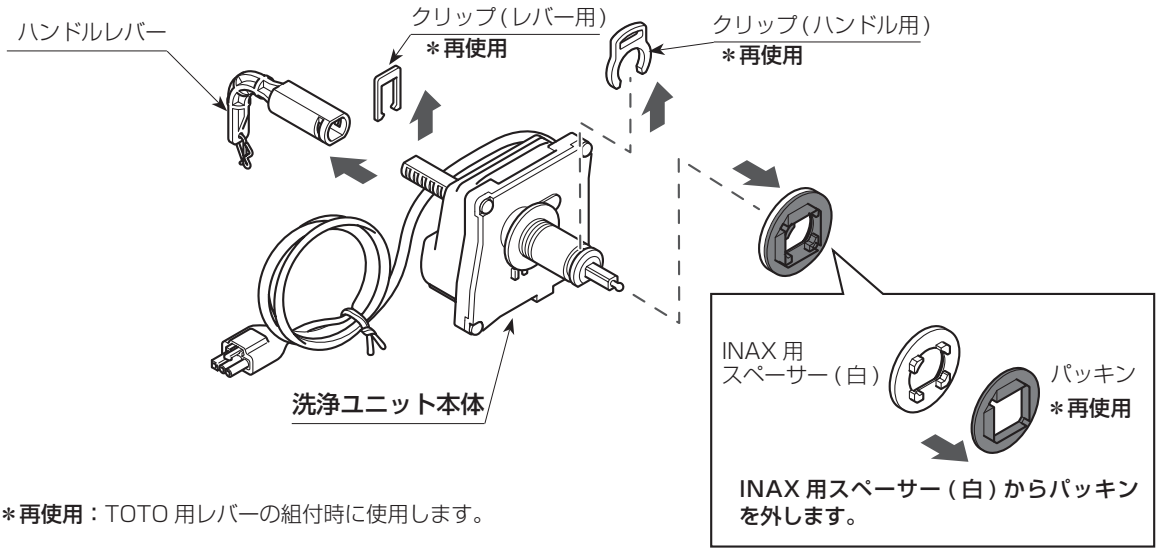




3 洗浄ユニット取付前部品準備

洗浄ユニット本体から取り外した部品を再使用する場合がありますので、取り外しの際は、破損しないようにご注意ください。

1. 洗浄ユニット本体から下記のように各部品を取り外します。



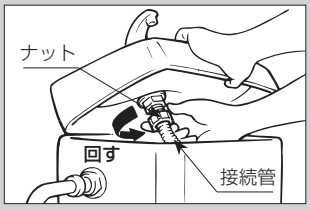
＊再使用：TOTO 用レバーの組付時に使用します。

注 意 1

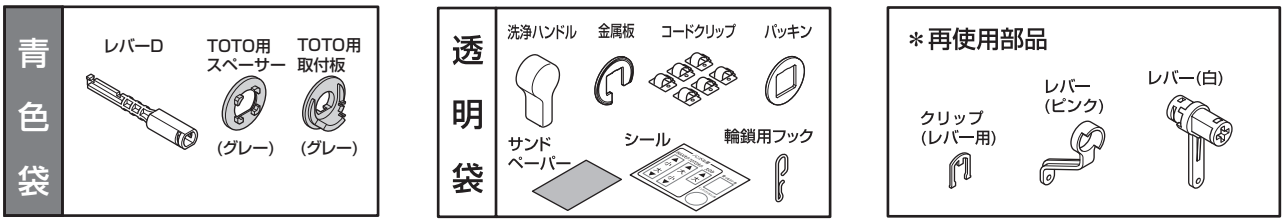
- 止水栓は調節してありますので再使用時、元の位置に戻す必要があります。
- 手洗吐水口付の場合は、タンクフタを外したら再び取り付けるまで止水栓を開けないでください。トイレ内を濡らす恐れがあります。

参 考 1

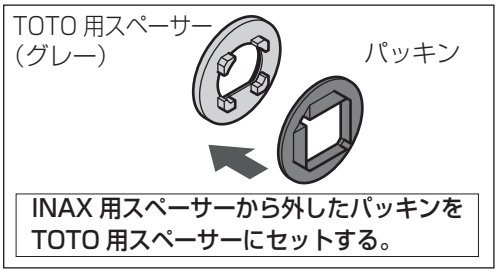
手洗吐水口付の場合は、フタの裏側にナットやクリップで接続管が付いている場合があります。
ナットやクリップを外し、タンクフタから接続管を外します。



2. **青色袋からレバー D と TOTO 用スペーサー (グレー)、TOTO 用取付板 (グレー) およびクリップ (レバー用) を取り出します。**（青色袋内のその他の部品は使用しません）
3. **タンクから外したレバー類とクリップを用意し、透明袋を開封して部品の準備をします。**

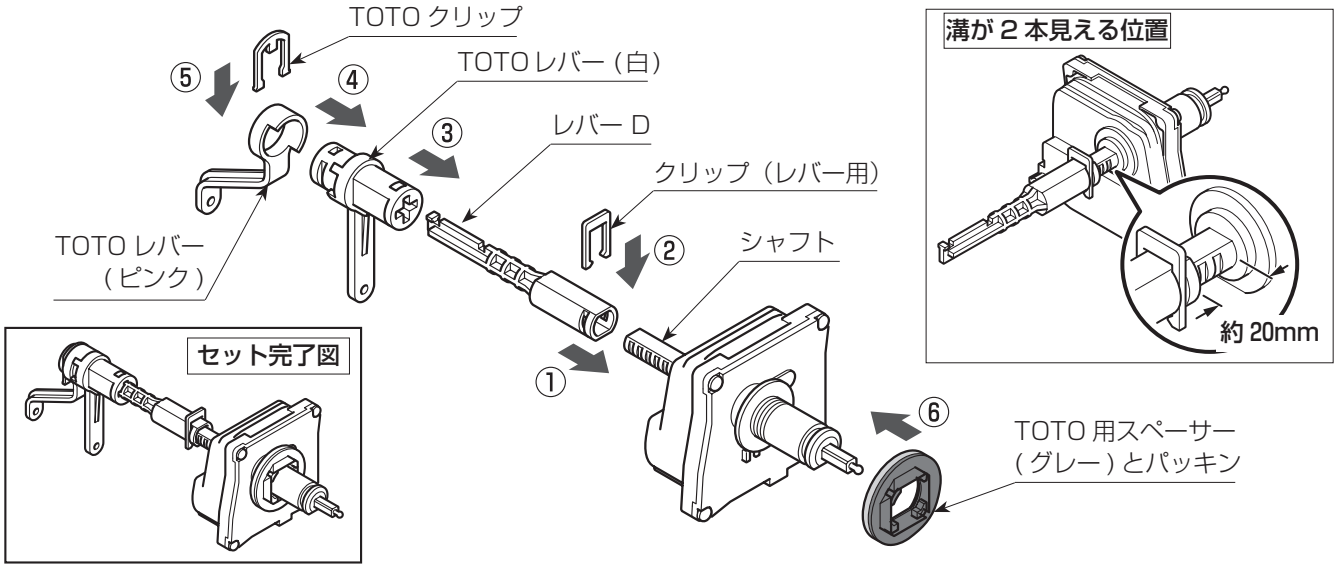


4. **TOTO 用スペーサー (グレー) にパッキンを取り付けます。**
   ※ パッキンは、前ページで INAX 用スペーサーから外したパッキンです。必ず、TOTO 用スペーサーに取り付けてください。



4 洗浄ユニット本体のセット

1. **ハンドルレバーをセットします。** 注意 2
   (1) レバー D をシャフトに差し込み①、洗浄ユニット本体側から **4 番目の溝**にクリップ (レバー用) を入れて固定します。②
   (2) **TOTO レバー（白とピンク）を**レバー D にセットし③④、TOTO クリップで固定します。⑤
2. **TOTO 用スペーサー (グレー) を洗浄ユニット本体に取り付けます。**・・・⑥



注 意 2

● **レバー類は必ず、奥まで差し込み、クリップで確実に固定してください。**
※ 長さが合わないと洗浄不良になります。また、クリップが途中までしか差し込んでいないと、外れて洗浄不能になります。

5 洗浄ユニット本体の取付け

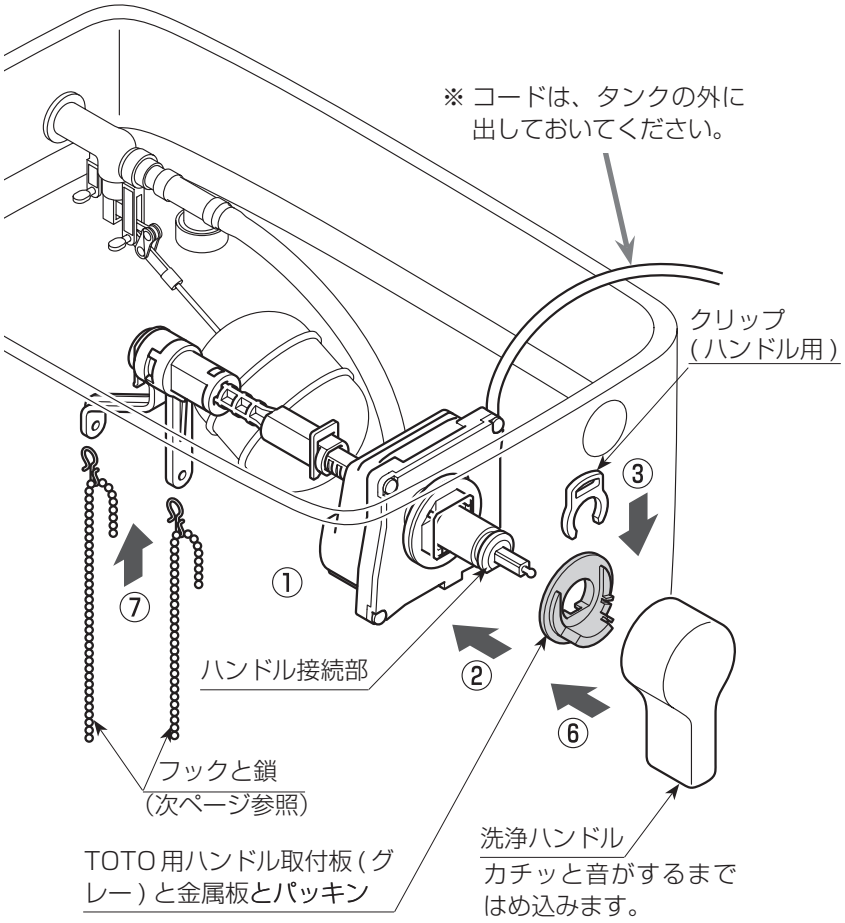
1. **TOTO 用取付板 (グレー) に金属板とパッキンをセットします。**
   ※ 金属板とパッキンは必ず、取り付けてください。取り付けないと取付板が変形し、破損の原因となります。

2. **タンク穴に洗浄ユニット本体のハンドル接続部を通します。**・・・①

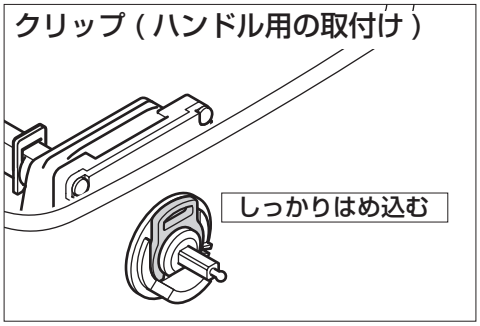
注意 3

3. **洗浄ユニット本体を固定します。**
   (1) TOTO 用取付板 (グレー) をハンドル接続部に差し込み②、クリップ (ハンドル用) で固定します。③
   ※ クリップ (ハンドル用) は、ハンドル接続部の溝に確実にはめ込んでください。・・・④
   (2) 本体のナットを工具を使って締め付けます。(締付トルク：2.5 ～ 3.0 N·m)・・・⑤

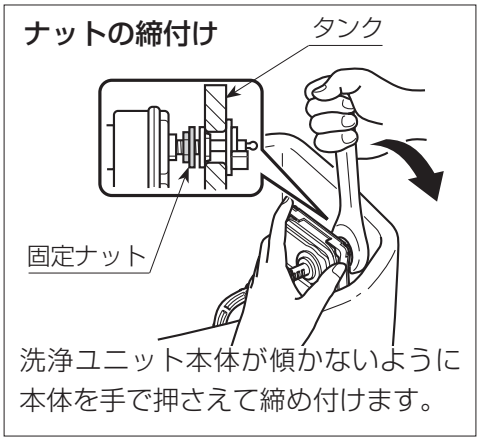
4. **洗浄ハンドルを取り付けます。**・・・⑥



④



⑤



注 意 3

- **洗浄ユニット本体をタンク内に落とさないでください。**
  ※ 本体内部に水が浸入して破損する恐れがあります。
- **本体が傾かないように注意してください。**
  ※ 本体が傾くと洗浄不良の原因になります。
- **インナータンクと陶器の間に部品を落とさないように注意してください。**
- **クリップ (ハンドル用) はしっかりはめ込んでください。**
  ※ はまっていないと洗浄不良の原因になります。
- **固定用ナットの締付トルクは、2.5～3.0 N·m が適正です。**
  ※ 締付けが緩いと洗浄不良になる恐れがあります。
  ※ 締め過ぎると破損する恐れがあります。

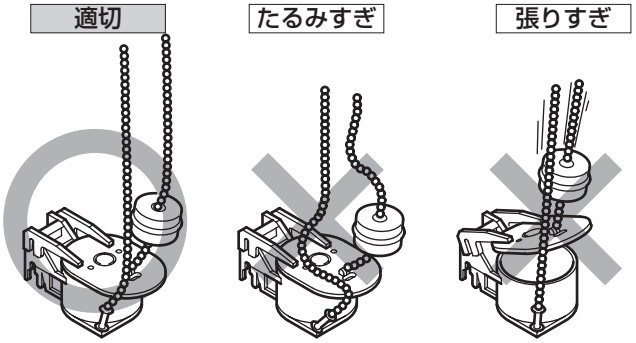
5. 鎖の長さを調節します。・・・⑦

(1) フックをレバーに取り付けます。

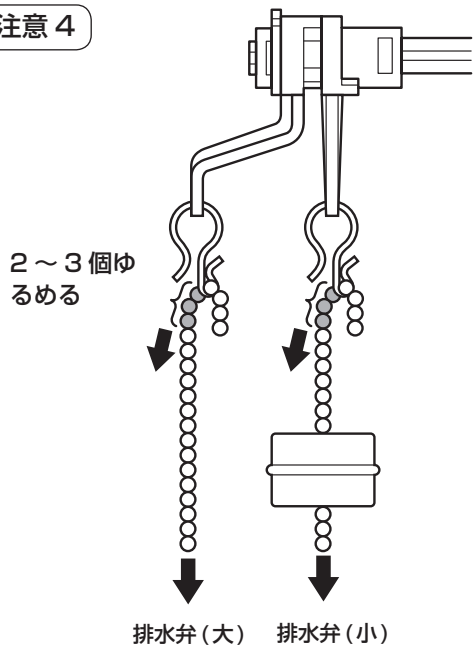
(2) レバーの先端を垂直にたらしたまま、排水弁が上がらない程度に鎖を張り、フックの鎖掛け部に合わせます。

(3) 合わせた玉から２～３個ゆるめて、鎖掛け部に鎖をかけます。

(4) 洗浄ハンドルを左右に操作してレバーおよび 2 個の排水弁がスムーズに動くことを確認します。

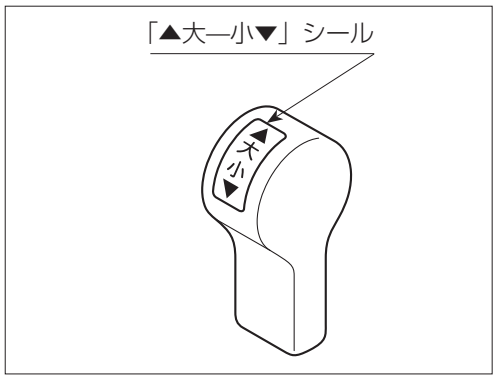


注意４



6 シールの貼付け

洗浄ハンドルにハンドル用の TOTO 大小シール（▲大―小▼）のシールを右図のようにしっかり貼り付けます。



注 意 ４

● **鎖やレバーが浮玉など他のものに触れて、動作の妨げにならないことを確認してください。**
また、鎖の張りすぎやたるみすぎがないことを確認してください。
※ 十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる原因となります。

7 洗浄ユニットコードの接続と取回し（37 ページ参照）

8 便器洗浄モードの設定（41 ページ参照）

※設定しないと洗浄不良の原因となります。

9 試運転（43 ページ参照）

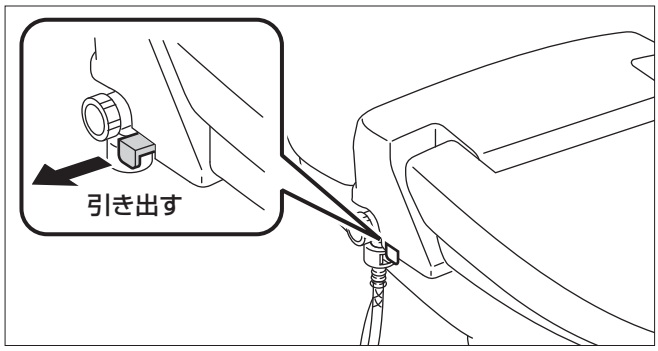
1 シャワートイレ本体の脱着

1. 電源を切ります。

2. 本体のロックレバーを解除します。

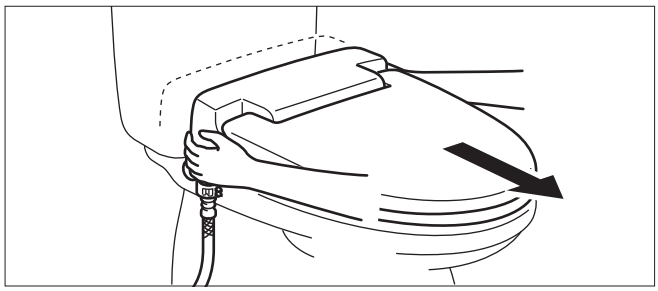
【PASSO E70・E60・E50 型・スリムタイプの場合】

① ロックレバーを引いてロックを解除します。



② 本体を一番手前までスライドさせます。

※ このとき、ロックレバーが引っ込みます。



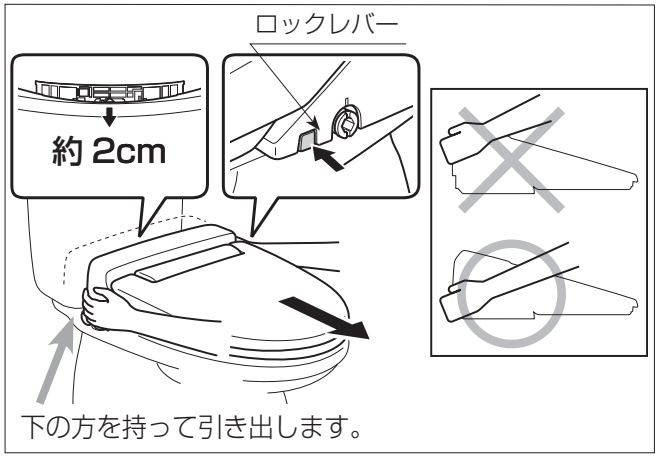
③ 再度、ロックレバーを引きます。

【PASSO EA10 型・KA シリーズの場合】

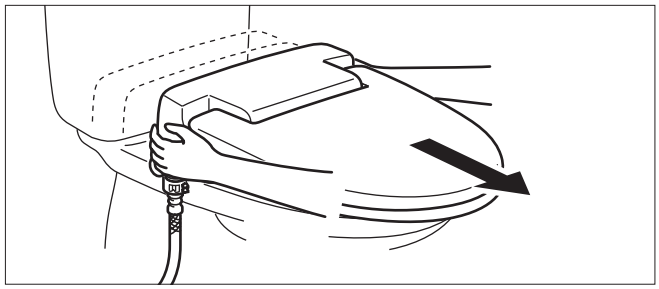
① 本体向かって右側にあるロックレバーを押しながら、**約 2cm** スライドさせます。

② **ロックレバーから指を離して、**さらにスライドさせます。

※シャワートイレの施工説明書をご確認ください。



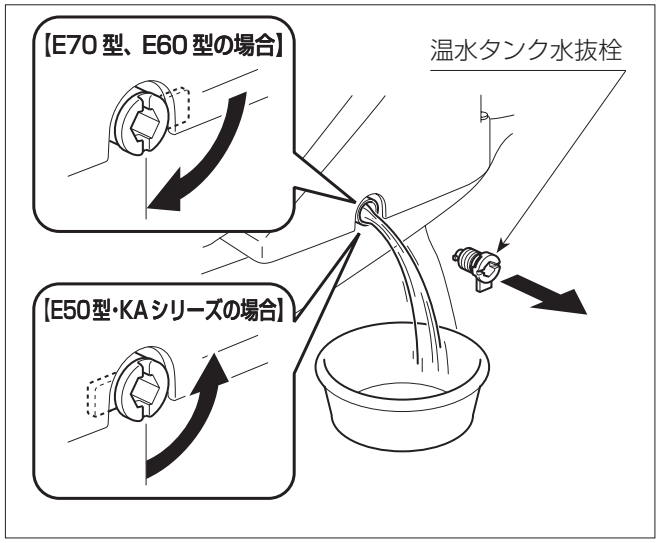
3. 本体を手前にスライドさせて便器から外します。



4. 貯湯式の場合

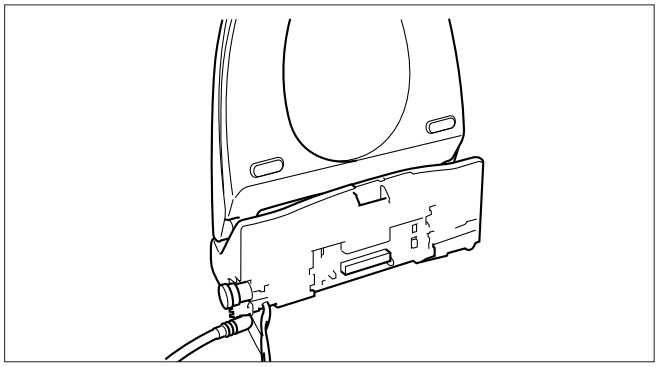
温水タンクに水が入っている場合は、温水タンク水抜栓を外して、温水タンクから水を抜きます。

マイナスドライバーを使って、水抜栓を 90˚ 回して外します。



水抜き完了後、水抜栓を取り付けます。工具を使って、反時計方向に 90˚ 回して確実に取り付け直します。

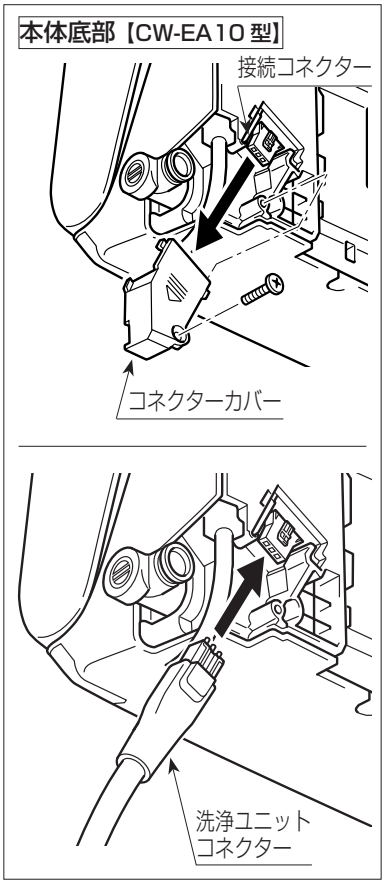
5. シャワートイレ本体を垂直に立てます。

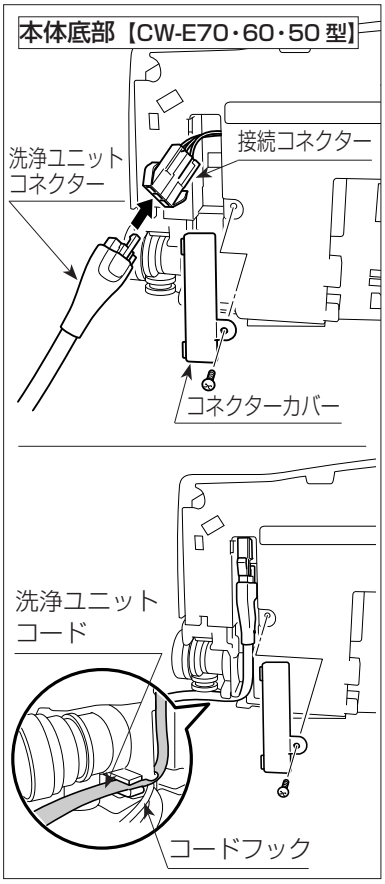


2 シャワートイレ本体への接続 ※シャワートイレの品番は、便フタ裏に記載してあります。

■ PASSO 瞬間式・スリムタイプ E55A の場合の接続

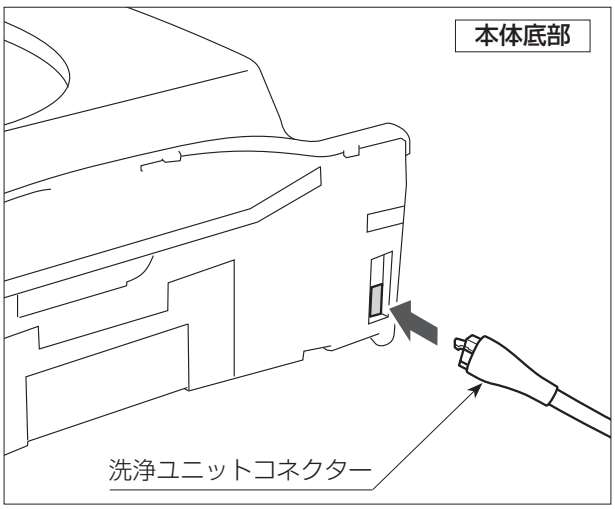
1. シャワートイレ本体の底部にあるねじを外してコネクターカバーを外します。
   ※ ねじを落としたり、紛失しないように注意してください。
2. 本体内部から接続コネクターを取り出します。
   ※ CW-E70・60・50 型のみ行います。
3. 洗浄ユニットコネクターと接続します。
4. 接続したコネクターを本体内部に納め、洗浄ユニットコードをコードフックにかけます。
   ※ CW-E70・60・50 型のみ行います。
5. コネクターカバーを取り付け、ねじを締め付けて固定します。
6. 本体を取り外しの逆の手順で取り付けます。
   ※ CW-E70・60・50 型の場合、取付完了後、必ずロックレバーを押し込み、本体をロックさせてください。





■ PASSO貯湯式・KAシリーズ・スリムタイプE61Aの場合の接続 ※シャワートイレの品番は、便フタ裏に記載してあります。

1. シャワートイレ本体底部の右側にあるコネクターに洗浄ユニットコネクターを接続します。
2. 本体を取り外しの逆の手順で取り付けます。
   ※ PASSO 貯湯式・スリムタイプ E61A の場合取付完了後、必ずロックレバーを押し込み、本体をロックさせてください。



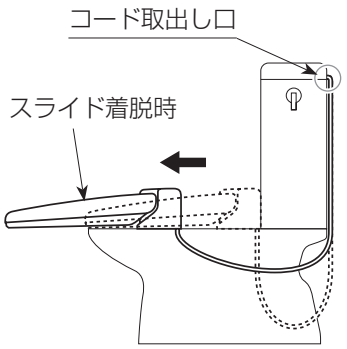
3 洗浄ユニットコードの取回し

コードクリップを使って、タンク内およびタンク背面にコードを取り回します。

1. コードクリップを貼り付ける前にコードを取り回してみて、コードに無理がかからないことや障害物がないことを確認します。コードは、陶器タンク背面から取り出します。

※ シャワートイレ本体のスライド着脱やリフトアップ、スライドアップを考慮し、シャワートイレ本体を便器から外してもコードが引っ張られないように余裕を持った取り回しをしてください。ただし、コードが床に着かないように注意してください。

※ コードをタンクフタでつぶさないようにしてください。



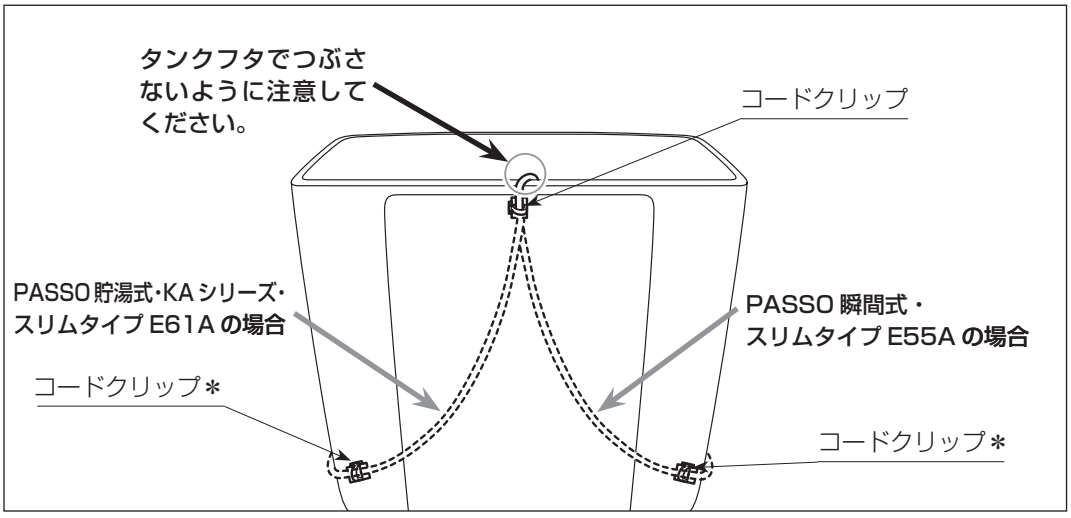
2. 同梱のサンドペーパーを使ってコードクリップを貼り付ける面をこすり、汚れや水あかなどをきれいにふき取ります。

3. 貼り付ける面が乾いていることを確認し、コードクリップを貼り付けます。

※ インナータンクのある機種は、インナータンクの内側にコードを取り回さないでください。

※ コードクリップ裏のテープの貼り直しはできません。

■ タンク背面

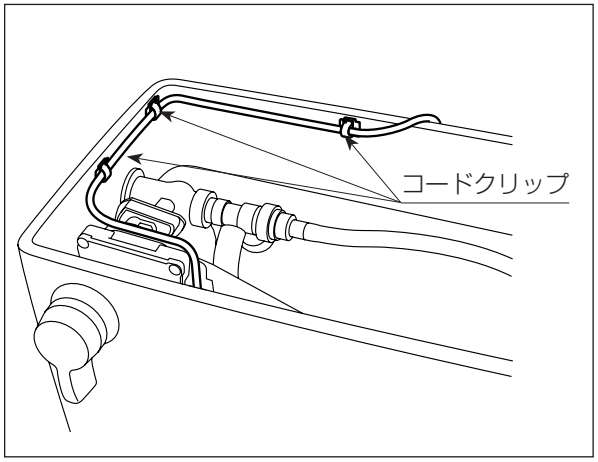


＊：下側のコードクリップがタンク背面に取り付けられない場合は、側面に取り付けてください。

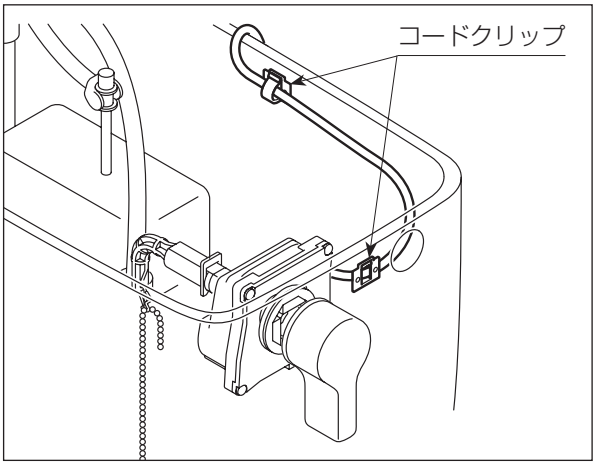
■ タンク内部

【インナータンクの無い場合】

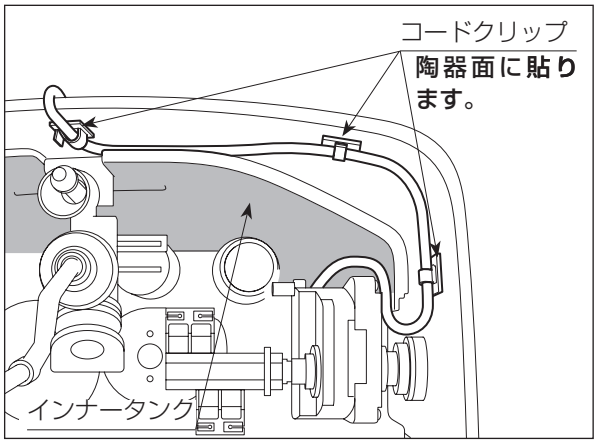
〈前ハンドルの場合〉



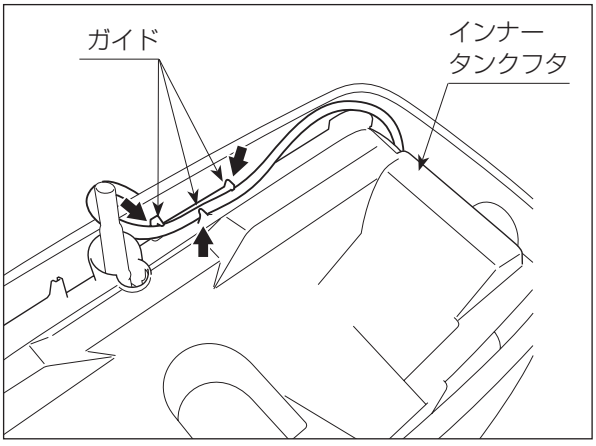
〈横ハンドルの場合〉



【インナータンクがある場合】



〈インナータンクフタにガイドがある場合〉



4. INAX W 節水便器以外は、「便器洗浄モードの変更」（41 ページ）を行ってください。
INAX W 節水便器は、「試運転」（43 ページ）を行ってください。

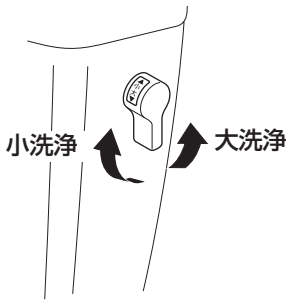
便器洗浄モードの変更

便器によって洗浄方式が異なるため、便器洗浄モード（洗浄方式）の変更が必要です。
最初に取り付けたときは、下記「初期状態」になっておりますので、下記をご覧いただき、設定終了後の状態へ便器洗浄モードを変更してください。

■便器洗浄モードの種類と確認

初期状態

大小洗浄



● INAX W 節水便器

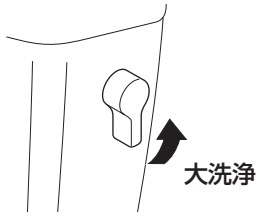
※ 上記は便器洗浄モードを変更する必要がありません。

● INAX W 節水便器以外
（大 / 小ホールド洗浄、大のみ洗浄）
● TOTO 大のみ洗浄便器
（B タイプ）

● TOTO 大のみ洗浄便器
（A タイプ）

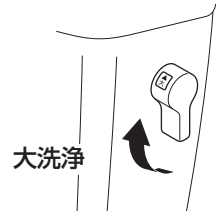
● TOTO 大小洗浄便器
（C タイプ、D タイプ）

設定終了後の状態



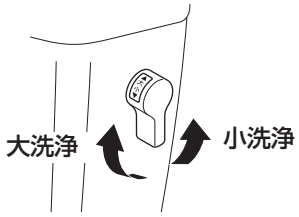
● 「大小洗浄」→「大のみ洗浄」に変更

設定終了後の状態



● 「大小洗浄」→「大のみ洗浄」に変更
● 大洗浄の回転方向を「反時計回り」→「時計回り」に変更

設定終了後の状態



● 大洗浄の回転方向を「反時計回り」→「時計回り」に変更

変更内容	INAX 便器		TOTO 便器			
	W 節水便器	W 節水便器以外	A タイプ	B タイプ	C タイプ	D タイプ
「大小洗浄」⇆「大のみ洗浄」の切り替え操作	—	○	○	○	—	—
「反時計方向」⇆「時計方向」の切り替え操作	—	—	○	—	○	○

上記の表にて操作を確認したら、次ページの手順にしたがって便器洗浄モードを変更してください。
壁リモコンとインテリアリモコンでは、操作方法が異なりますので、ご注意ください。

■操作方法

1. リモコンに電池を挿入します。

2. シャワートイレの電源プラグを差し込み、電源ランプが点灯することを確認します。

電源ランプが点灯しない場合は、リモコンの電源スイッチを押します。

3. 便器洗浄モードを変更します。

(1) リモコンを壁から外し、リモコンの送信部をシャワートイレ本体の受信部に向けます。

(2) 下表より操作を選択してリモコンのスイッチにて便器洗浄モードの変更を行います。

(3) 各操作完了時、シャワートイレ本体側から、下表の反応があることを確認します。

※変更後は、必ず試運転（43 ページ参照）を行ってください。

※誤って設定された場合は、再度同じ操作で元に戻ります。

PASSO CW-E70・E60・E50 型・KA シリーズ・スリムタイプの場合

	「大小洗浄」⇆「大のみ洗浄」の切り替え操作 ※シャワートイレ本体の電源ランプが、PASSO･スリムタイプは２回､KA シリーズは 1 回点滅します。 ※元に戻すのも同じ方法で行います。	「反時計方向」⇆「時計方向」の切り替え操作 ※シャワートイレ本体の電源ランプが、PASSO･スリムタイプは２回､KA シリーズは 1 回点滅します。 ※元に戻すのも同じ方法で行います。
壁リモコンの場合	「ノズルそうじ」スイッチ ＋ 「ビデ」スイッチ 同じタイミングで 6 秒間押す。	「電源 入／切」スイッチ ＋ 「ノズルそうじ」スイッチ 同じタイミングで 6 秒間押す。
インテリアリモコンの場合	「節電 入／切」スイッチ ＋ 「ビデ」スイッチ 同じタイミングで 6 秒間押す。	「節電 入／切」スイッチ ＋ 「パワフルまたはおしり」スイッチ 同じタイミングで 6 秒間押す。

PASSO CW-EA10 型の場合

	「大小洗浄」⇆「大のみ洗浄」の切り替え操作 ※「大小洗浄」セット完了時、「ピッ」という音がなります。「大のみ洗浄」セット完了時、「ピー」という音がなります。 ※元に戻すのも同じ方法で行います。	「反時計方向」⇆「時計方向」の切り替え操作 ※「反時計方向」セット完了時、「ピー」という音がなります。「時計方向」セット完了時、「ピッ」という音がなります。 ※元に戻すのも同じ方法で行います。
壁リモコンの場合	「止」スイッチ ＋ 「洗浄位置 前」スイッチ 同じタイミングで 6 秒間押す。	「おしり」スイッチ ＋ 「節電」スイッチ 同じタイミングで 6 秒間押す。
インテリアリモコンの場合	「止」スイッチ ＋ 「洗浄位置 前」スイッチ 同じタイミングで 6 秒間押す。	「電源」スイッチ ＋ 「ノズルそうじ」スイッチ 同じタイミングで 6 秒間押す。

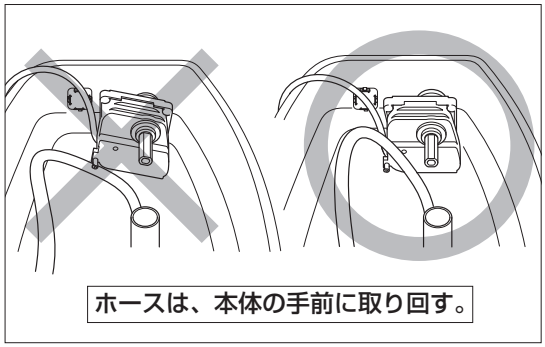
4. 便器洗浄モード変更完了後、「試運転」（次ページ）を行ってください。

試運転

1. 洗浄ユニットとタンク内部金具・ホース類が干渉していないか確認します。

●補給水管用ホースが洗浄ユニットに干渉して本体が傾いていると洗浄不良の原因になります。

●洗浄ユニット作動時、レバーが内部金具やホースなどにの干渉しないことを確認します。



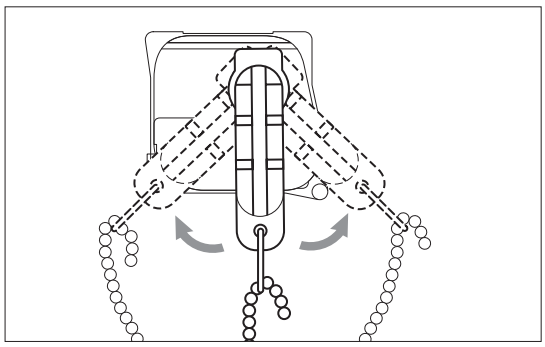
2. 洗浄ユニットの動作確認をします。

シャワートイレ本体に電源が入っていることを確認して、リモコンの流すスイッチ「大」および「小 (大小便器の場合)」を押して以下のことを確認します。

●レバーがスムーズに動くこと

●レバーが内部金具やホース類に干渉しないこと

●洗浄ユニットから異音が出ていないこと



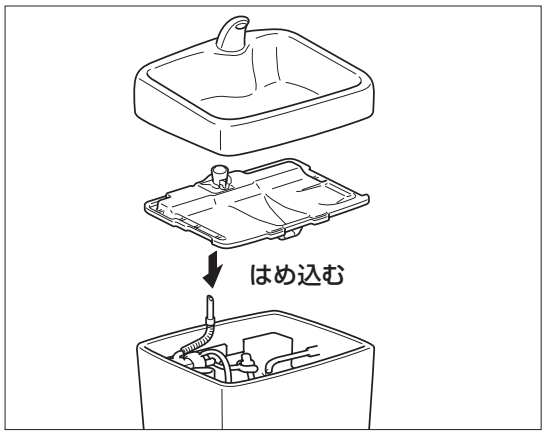
3. ロータンクフタをタンクに取り付けます。

手洗付の場合、接続管を手洗い吐水口に接続します。
インナータンク付の場合、先にインナータンクをしっかり取り付けます。

4. 止水栓を開けてタンクに給水します。

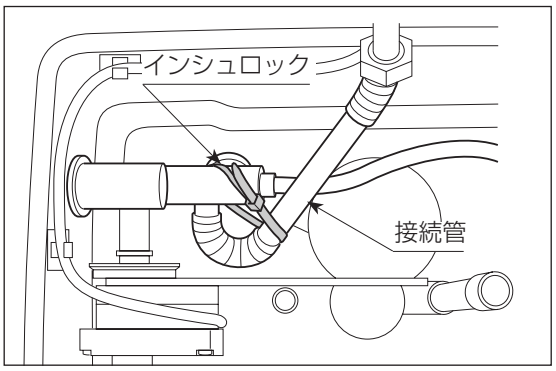
5. 手で洗浄ハンドルを操作して、大洗浄・小洗浄（大小便器の場合）が確実に行われることを確認します。

注意 1



手動による便器洗浄が正常に行われなかった場合

- **適切なレバーが正常に取り付いていますか？**
- **鎖は、適切な長さに調節しましたか？たるんでいたり、張りすぎていませんか？**
- **TOTO 大小便器において大小の鎖を間違えて接続していませんか？**
- **内部金具やホース・管類と干渉していませんか？**
  （TOTO 便器 B タイプの場合）
  まれに手洗吐水口の接続管が洗浄ユニットのレバーと干渉している場合があります。
  干渉しているときは、接続管を同梱のインシュロックで固定してください。
  ※ インシュロックで接続管を固定する際、接続管の根元付近で固定すると、接続管がボールタップから抜ける場合がありますのでご注意ください。

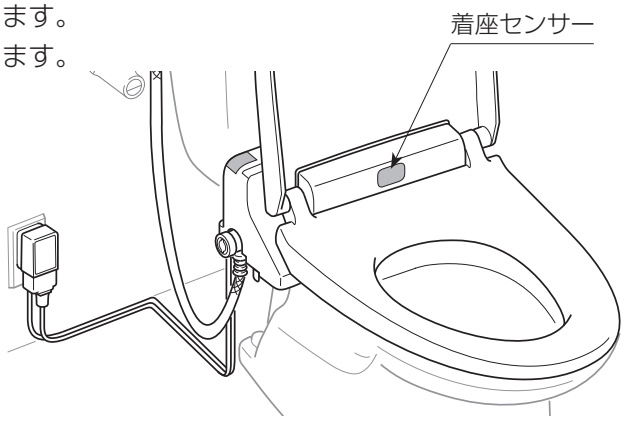


6. リモコンの「大」および「小」スイッチを押して大洗浄・小洗浄が確実に行われることを確認します。

※小洗浄は、大小便器の場合のみ

7. フルオート便器洗浄を確認します。

(1) 着座センサーを手でおおい、数十秒後に手を離します。
(2) 6 秒後に自動で便器洗浄が行われることを確認します。



洗浄ユニットが正常に作動しない場合

- **シャワートイレの電源は入っていますか？（電源ランプ点灯状態）**
- **リモコンの電池は入っていますか？（リモコンの施工説明書参照）**
- **シャワートイレは正常に作動しますか？（シャワートイレ本体施工説明書参照）**
- **洗浄ユニットコードはシャワートイレに接続してありますか？（37 ページ参照）**
- **便器洗浄モード（洗浄方式）を適切な便器洗浄モードに変更しましたか？（41 ページ参照）**
- **フルオート洗浄（リモコンの自動便器洗浄スイッチ）は「入」になっていますか？**

8. フルオート便器洗浄の試運転完了後、シャワートイレ本体の施工説明書にしたがってシャワートイレの試運転をします。

※貯湯式の場合、温水タンクを満水にしておくと、すぐにシャワートイレが使用できます。

フルオート便器洗浄について

フルオート便器洗浄とは、便座から立ち上がって数秒後に便器洗浄を自動で行う機能です。

■フルオート便器洗浄解除方法

（必ず、お客さまに説明してから行ってください。）
リモコンの自動便器洗浄スイッチを「切」にします。
※出荷時は「入」になっています。

注 意 1

- 便器洗浄水が流れなかったり、流れっぱなしになったり、または電動時にカタカタ音がする場合は、洗浄ユニット本体が垂直に取り付けられていることを確認します。
  それでも正常に作動しない場合は、玉鎖を下記のように調節します。
  流れない場合：玉 1 ～ 2 個分、鎖を張ります。
  流れっぱなしの場合：玉 1 ～ 2 個分、鎖をゆるめます。

［重要］必ずお読みください。

施工後は、必ず便器洗浄モードを設定してください。

（設定方法…P.41 ～ 42）

設定しないと、洗浄不良の原因となります。

●施工後は、必ず動作確認を行ってください。